

Bank of the Ryukyus' Okinawan Economic Review

# りゅうぎん調査

2016  
No.564

# 10



経営トップ

株式会社丸大

地域の食生活創造に貢献します

起業家訪問 An Entrepreneur

みかん・おれんじグループ

10月10日は体育の日  
運動会シーズンを楽しもう!



RRI No.123

 琉球銀行

 りゅうぎん総合研究所

※目次(CONTENTS)の各タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。

**CONTENTS**

<p><b>経営トップに聞く</b> <span style="float:right">01</span> 株式会社丸大 ～地域の食生活創造に貢献します～ 代表取締役社長 大城 義弘</p>	
<p><b>起業家訪問 An Entrepreneur</b> <span style="float:right">06</span> みかん・おれんじグループ ～利用者の皆さまの健康と自立を専門技術でサポートする総合介護事業所～ 代表者 喜納 正博</p>	
<p><b>新時代の教育研究を切り拓く</b> <span style="float:right">08</span> ～オキナワモズク的全ゲノム解読 — モズク養殖・産業利用にむけて～ 沖縄科学技術大学院大学コミュニケーション・広報ディビジョン メディアセクション (同大学のHP記事より許可を得て転載)</p>	
<p><b>OCVBの取り組みについて</b> <span style="float:right">11</span> ～カップルアニバーサリーーツーリズム拡大事業～ 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー</p>	
<p><b>アジア便り 香港</b> <span style="float:right">14</span> ～「長寿社会」香港と、香港でのイベント～ レポーター: 村井 俊秀(琉球銀行) 沖縄県香港事務所に出勤中(副所長)</p>	
<p><b>りゅうぎんビジネスクラブ</b> <span style="float:right">18</span> ～「りゅうぎんビジネスクラブ」入会のご案内～ ～第6期「りゅうぎんマネジメントスクール」を開催しました～</p>	
<p><b>行政情報83</b> <span style="float:right">21</span> 沖縄総合事務局経済産業部の最近の取組等について 内閣府沖縄総合事務局経済産業部</p>	
<p><b>県内大型プロジェクトの動向80</b> <span style="float:right">22</span></p>	
<p><b>沖縄県の景気動向 (2016年7月)</b> <span style="float:right">24</span> ～観光関連の入域観光客数や消費関連の百貨店売上が前年を上回り、建設関連も 公共工事が好調に推移しており、県内景気拡大の動きは24カ月連続で強まっている～</p>	
<p><b>学びバンク</b> <span style="float:right">36</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋深層水と久米島 ～クルマエビ養殖で活況～ 琉球銀行久米島支店長 真栄田 聡(まえた さとし)</li> <li>・保険業法改正 ～より自分に合う選択へ～ 琉球銀行リスク統括部コンプライアンス室弁護士 米須 陽宏(こめす あきひろ)</li> <li>・女性活躍推進法 ～企業成長の後押し期待～ 琉球銀行人事部調査役 知花 美奈子(ちばな みなこ)</li> <li>・内部通報制度 ～通報者は不利益受けず～ 琉球銀行監査部上席調査役 伊佐 昭彦(いさ あきひこ)</li> </ul>	
<p><b>経営情報 昨今の気をつけるべき減価償却税務</b> <span style="float:right">39</span> ～減価償却資産の償却方法の改正および租税特別措置法の見直し～ 提供 太陽グラントソントン税理士法人</p>	
<p><b>経済日誌 2016年9月</b> <span style="float:right">41</span></p>	
<p><b>県内の主要経済指標</b> <span style="float:right">42</span></p>	
<p><b>県内の金融統計</b> <span style="float:right">44</span></p>	

経営  
トップに聞く地域の食生活創造に  
貢献します。株式会社丸大  
おおしろ よしひろ  
大城 義弘 社長

戦後まもない 1948 年に「大城商店」を創業したのが出発になる老舗のスーパーマーケットである。1979 年に「ファミリープラザ丸大」の名前でスーパーマーケット事業を本格的に展開、那覇・南部地域を中心に営業基盤を広げていった。地域密着を大切にしながら堅実経営を実践、安定した成長を続けている。南風原町宮平の本店をお訪ねし、大城社長にこれまでの歩み、事業内容、経営理念、今後の取り組みなどをお聞きした。

インタビューとレポート 照屋 正

**終戦(1945年)の3年後に「大城商店」を立ち上げ、今年3月で創業から68年目を迎えました。長い業歴を持ち、地域に密着したスーパーマーケットとして親しまれ、安定した成長を続けています。これまでの歩みをお聞かせください。**

1948年に父の大城長保が「大城商店」を開業したのがスタートになります。場所は南風原町宮平、現在の南風原店(本店)のちょうど向かいになります。

1953年に与那原町与那原に移転し、その後、倉庫ビルを建てて卸売部門を新設するなど業容の拡大を進めています。有限会社大城商店と法人化したのが1974年。1975年に南風原町宮平に南風原店を開業しました。

今年は創業から数えて68年目、法人化して45年の節目になります。

当社の転機は、南風原町宮平の店舗を1979年に「ファミリープラザ丸大」と改め、本格的なスーパーマーケットを開業したときです。広い駐車場を持つ当店舗は、建物の規模も当時としてはけっこう大きく、当社にとって大変大きな投資でした。当然、すんなりと開業に至ったわけではありません。

当時、社長である父のもとで兄2人と私がそれぞれの役割を決めて経営にあたっていました。卸・小売業からスーパーマーケットへ事業を拡大しようとしたのは、近くに開店したばかりの農協のスーパーマーケットが、日に日に客足を増やしていたからです。私たち3人は、これを見て「スーパーマーケット事業は間違いなく伸びる」と確信したのです。

はじめは慎重だった父も、私たちに理解を示



1983年の本店増築時の「ファミリープラザ丸大」南風原店（写真中央少し右上の広い駐車場と建物）

してくれて事業計画づくりに加わり、資金調達に奔走してくれました。ところが当時は、沖縄海洋博覧会終了後の不況で、倒産が相次いでいた時期です。公的金融機関は貸し出しに消極的で、なかなか資金計画が思うように進みません。そんな中、現在取り引きしていただいている金融機関が、事業の将来性を評価し協力してくれたことで資金調達の目処がたち、それからほぼ予定どおりに準備が進みました。開業した「ファミリープラザ丸大」は、見込みどおりスタート時から多くのお客さまにご来店いただきました。

まったく偶然なのですが、同じ時期に当店の近くにプリマート（現在のマックスバリュー）さんが開業しています。立地条件はプリマートさんが恵まれていたため、私たちは正直、先行きの競合に少し不安を持っていました。しかし、広い駐車場を持っていた当店舗は、比較的遠方からもお客さまにお越しいただけ、予想を上回る速さで来店客数が伸び、そんな心配は杞憂に終わりました。結局、両店はうまい具合に共存共栄ができたようです。

本店を与那原から南風原の「ファミリープラザ丸大」に移したのが1983年。翌年、社名を株式会社丸大に改めました。

現在、店舗は南風原店（本店）、糸満店、佐敷店、与那原店、真玉橋店、神原店、国場店、長田店、

勢理客店、読谷伊良皆店、読谷波平店の11カ店です。

従業員数は、647人（パート・アルバイト含む）、うち正社員が88人です。

### 事業の概要をご紹介ください。

スーパーマーケットの業務は一般に、青果部門、鮮魚部門、精肉部門、惣菜部門、日配部門（豆腐・卵・牛乳など）、グロスリー部門（一般加工食品・菓子・日用雑貨など）に分けられます。各部門には責任者が配置され、パートやアルバイトなどのスタッフを指揮しながら商品の仕入れ、加工、パック、陳列、売場づくりなどを行っています。

当社の青果部門を例にとると、責任者は自身で商品を選別して仕入れ、一部に加工やパックの工程を加えた後、販売促進につながるように工夫しながら陳列を行います。POP広告などを使った商品情報の提供も大事な仕事になります。売場づくりの巧拙が販売実績に直結しますので、商品知識はもちろん、創意工夫によるスキルの向上が求められます。もちろん、パートやアルバイトなどのスタッフをまとめる組織運営力も必要になります。

当業界ではレジ係をチェッカーと呼びますが、チェッカーはレジの事務を手際よく処理す



1953年ごろの「大城商店」(与那原町与那原)



現在の「ファミリープラザ丸大」南風原店(本店)

1975年に開設した「大城スーパー南風原店」  
(南風原町宮平)

読谷波平店

読谷波平店

るだけでなく、挨拶、笑顔、言葉づかいといった接客力が求められます。お客さまから質問や要望などを受ける機会も多いため、その知識とスキルも身に付けなければなりません。

地域密着を大事にする当社では、とくにチェッカーの人材育成に力を入れています。業務知識とスキルを高めるために毎月、専門講師を招いてロールプレイング式の研修を行い、同時にチェッカー資格の取得を奨励しています。当社には、県内でも数少ないチェッカー資格1級取得者が2人おり、全店を臨店指導する教育担当としても活躍しています。

### 流通業界を取り巻く環境は大きく変わってきていますが、その状況を教えてください。

私たちの現状認識をまとめると、次の4点になります。

第一に、少子高齢化を背景に、健康志向の高まりが続いていることです。

第二に、規制緩和によって業種・業態を超えた競争が進展していることです。コンビニエンスストア、ドラッグストア、ファーマーズ、ネット販売など新しい競争相手が増えています。一方で電子マネーなど決済サービスの多様化が進んでいます。

第三に、女性の社会進出が目立ってきている

ことです。これを受けて、家事の簡略化による中食商品(惣菜、弁当など)、即食商品(袋物惣菜、自然解凍冷食など)の需要が増えています。また、食育についての意識も高まっています。

第四に、消費税率の引き上げによって消費者が節約傾向にあることです。

### こうした状況のもとで、御社が力を入れている取り組みをお聞かせください。

競争が厳しくなる中で勝ち残るには、最新の情報やシステムをタイムリーに効率良く取り入れ、効果的に活用する体制が求められます。その一環として当社は、2007年9月にCGCグループに加盟しました。

CGCグループとは、全国の中堅・中小スーパーマーケットが集まり、商品開発や情報システムの構築、販売促進、教育などの運営に共同で取り組み、その成果を共有することができる協業組織です。現在約220社が加盟しています。

当社は加盟によって、最新の情報の収集、共同システムの活用、POPシステムの活用、人材育成のための講師の招へいや研修会への派遣などを積極的に行い、生産性の向上につなげています。

また、営業基盤の拡充に寄与しているのが、1995年に導入した「丸大ふれあいカード」の



商品情報の提供と売場づくりに工夫を凝らす



お客さまに好評の「CGCフェア」



試食コーナーも売場づくりの大事なポイント

普及です。ご存じのとおり、カードにポイントを貯めてお買い物のできるクーポンと引き換えるシステムで、無料で会員になっていただけます。県内の業界では早い段階で導入し、固定客の増加に貢献。現在も会員さまの購買率が高く、重要な営業ツールになっています。当社は独自でカードを運営していることもあり、ニーズに即してタイムリーに優遇サービスを提供することができ、それがお客さまの評価につながっています。引き続き推進を図っていきます。

一方、人材育成を兼ねて力を入れているのが「レジ前販促」です。レジ前の陳列棚が、それぞれのチェッカーに任された売り場になります。レジに並ぶお客さまに、いかに興味を持っていただけるような商品を紹介できるか、それを各店で競っています。チェッカーは自ら工夫して商品を選んで陳列し、その販売実績が努力の結果として評価されます。

「レジ前販促」は、一つひとつの売上額は小さいものの、積み重ねると一定のボリュームになります。また、自分で仮説を立てて実行し、検証を繰り返すという行動が身に着くため、社員に主体性が育まれます。その効果が大きいため、これからも推進していきたいと考えています。

### 経営理念、事業運営の考え方についてお聞かせください。

当社の存在意義は、「地域の食生活創造に貢献する」ことです。それは、商品の良さをアピールし、お客さまに「食べる喜び」「こだわる喜び」「会話する喜び」「集まる喜び」を提供することと考えています。

そして次の経営理念をかかげ、実践に努めています。

1. 顧客満足度向上のための努力をします
  - －お客様志向を徹底し、丸大ファンを増やします。
2. 従業員のスキルアップと待遇向上を目指します
  - －教育を強化し、売場づくりのレベルを上げていきます。その先に生まれた利益を従業員の皆さんに還元していきます。
3. お取引先様とWIN & WINで良好な関係を目指します
  - －商品開発力、品揃え、調達力を強化します。
4. 社会に貢献できる会社を目指します
  - －地域社会の発展のために、企業活動の与える影響を自覚し、責任を持って社会活動に取り組んでいきます。
5. 法令を順守します
  - －地域の皆様に安心・安全をお届けするため

## 会社概要

商 号：株式会社丸大  
 所 在：沖縄県島尻郡南風原町字宮平 251  
 連 絡 先：098-889-3465  
 設 立：1948 年（昭和 23 年）3 月  
 役 員：代表取締役社長 大城 義弘  
 常務取締役 系数 政則  
 取締役商品部部長 大城 保信  
 取締役店舗運営部次長 植田奈利子

従業員数：647 人（パート・アルバイト含む）  
 事業内容：スーパーマーケット事業  
 営 業 店：11 カ店  
 南風原店（本店）、糸満店、佐敷店、  
 与那原店、真玉橋店、神原店、  
 国場店、長田店、勢理客店、  
 読谷伊良皆店、読谷波平店



2016 年度経営方針発表会



「地域の食生活創造に貢献する」

にも、コンプライアンス経営を実行します。

流通業界の大きなうねりの中で、地元の中堅スーパーマーケットとして今日まで成長し続けることができたのは、地域のお客さまの支えと社員の皆さんの協力のおかげだと感謝しています。

他社に比べて店舗数が少なく、業容面ではゆっくりとした足取りだったかもしれませんが、財務面ではしっかりとした基盤を築くことができ、安定した経営を続けています。

しかし、これから先のビジネスを考えると、財務の安定だけでは成長は期待できません。流通業界は、前述のとおり厳しい競争が進展しています。

こうした中で、経営者として第一に考えるのが会社の存続です。言うまでもなくそれは、社員と家族の皆さんの生活を守ることも意味しています。

会社の存続のために大切なことは「社員の一人ひとりがお客さまを自分の家族のように大切に思う気持ちで接する」ことです。そのために会社は、人材育成に丁寧に時間をかけて取り組み、社員の成長をサポートします。社員の皆さんが主体的にそれを実践することができれば、これまで以上に地域のお客さまから支持され、信頼される会社になるはずで

そのために私は、社員の皆さんが誇りを持って仕事ができるように職場環境の整備に力を注ぎ、従業員満足度を高める努力を続けます。それが経営者の使命と考えています。

#### これからの事業の展開についてお聞かせください。

店舗の新設はつねに頭の中にはありますが、なかなか条件に合った物件がないですね。将来的には、店舗網の拡充のもとで物流センターの設置も必要になると考えています。

当面の課題として取り組むべきことは、店舗の改装を進めながら、①付加価値のある売り方②付加価値のある商品づくり③効率化によるコストの削減などです。C G Cグループの機能を活用しながら、一つひとつ取り組んでいるところです。

企業の成長は人材にかかっています。これまで不定期だった新卒者の採用を、今後は継続して行い、長期的な計画のもとで人材育成を行っていきたくと考えています。そのために今年度から、学生の就職イベントである企業合同説明会に参加しました。チャレンジ精神のある皆さんと一緒に、これからの丸大をつくっていきたくと思います。



## みかん・おれんじグループ

障がい者支援と介護保険支援を両輪に、障がい者通所施設、老人ホーム、デイサービスなどを運営する総合介護事業所。利用者の皆さまの健康と自立を専門技術でサポートする。



き な まさひろ  
喜納 正博 (代表者)

### 事業概要

「みかん」	
○法人	有限会社フィーチャー企画
○会長	喜納 正博
○社長	伊波 亜矢子
○設立	2003年11月
○事業内容	障がい者通所支援センター事業 児童デイサービス事業 住宅型有料老人ホーム事業 デイサービス事業 訪問介護・看護ステーション事業
○本社	沖縄県宜野湾市嘉数 2-2-1 広栄メディカルビル 2階
○TEL	098-890-1797
○グループ 職員数	300人 (パート・アルバイト含む)
「おれんじ」	
○法人	株式会社K I N A
○社長	喜納 正博
○設立	2009年1月
○事業内容	有料老人ホーム事業 住宅型有料老人ホーム事業 デイサービス事業など
本社場所・TELは有限会社フィーチャー企画と共通	

業に取り組み、訪問介護・看護ステーション、デイサービス、有料老人ホーム、児童デイサービスなどの事業を立ち上げました。「利用者の目線に立ち、家族の思いが反映されるものにしたい」というのが基本姿勢です。おかげさまで多くの方の利用があり、さらに希望される方が増えたため、2009年に株式会社K I N Aを設立し、事業の拡大を図りました。

当グループは、有限会社フィーチャー企画の事業を「みかん」と呼び、株式会社K I N Aの事業を「おれんじ」と呼んで地域の皆さまに親しんでいただいています。職員数は現在、グループで300人です。

当グループでは、お年寄りの皆さまに楽しい時間を過ごしていただくだけでなく、できるだけ心身ともに良くなるように、リハビリに力を入れています。そのために専門技術を持つ職員をそろえる一方で、こうした技術を身に付けるように職員の皆さんに学ぶ機会を提供し、自己研鑽に励んでもらっています。

私はこれまで多くの方々に支えられながら、沖縄県支部筋ジストロフィー協会会長、在宅筋ジストロフィー会会長、NPO法人宜野湾市身体障がい者協会副理事長などを務めてきました。障がい者の方の多くは、環境さえ整えば働けると考えています。私の経験から言えることですが、働くことによって人間形成が図られ、前向きになり自信が持てるようになります。私は引き続き、障がい者の方が働ける環境づくりに、微力ながら尽くしていきたいと考えています。

### 起業への道のり

私は3歳のときに進行性筋ジストロフィー症と診断され、中学校を卒業すると鹿児島県の国立病院で療養を続けながら、通信教育で高等学校を卒業しました。その後、職業訓練校へ入り、簿記1級、珠算2級、ワープロ3級の資格を取得。1年ほど税理士事務所に勤めた後、沖縄へ戻り、障がい者のための活動に少しずつ取り組むようになりました。

1997年に障がい者の方々が集い、働ける場所を提供したいとパソコン教室を開設し、2003年に有限会社フィーチャー企画と法人化しました。その後、私自身の経験を生かしたいとの思いで福祉事



季節の行事・お祝いを数多く開催



住宅型有料老人ホーム「おれんじ嘉数」



知識と技術を磨く



情熱を持ってサポート



グループの新年度計画発表会



皆の夢を実現します

## みかん（有限会社フィーチャー企画）の事業

「障がい者通所支援センター こみかん」

「児童デイサービス こみかん」

こみかんの「こ」は、個性の「こ」です。一人ひとりの個性を尊重し、丁寧に優しいコミュニケーションを大事にしています。施設は、本社ビルの隣に立地しています。

「住宅型有料老人ホーム みかん西原」

「デイサービス みかん西原」

浦添市西原の広栄交差点に近い閑静な住宅街に立地する施設です。1階がデイサービスで、2階と3階が住宅型有料老人ホームです。専門技術とプロ意識を持つ職員が、心身ともに元気になれるようにサポートします。

「訪問介護ステーション みかん」

「訪問看護ステーション みかん」

「相談支援事業所 みかん」

安心して楽しく快適な毎日を過ごせるように、きめ細かいサービスを提供しています。相談支援事業所では、専門の相談支援員が丁寧に話を伺います。

## おれんじ（株式会社KINA）の事業

「有料老人ホーム おれんじ」

「デイサービス おれんじ」

有料老人ホームは、本社ビルの3階と4階にあり、48床で全室が個室です。デイサービスは同ビルの5階、1日型コースと半日型コースがあります。屋外活動や季節の行事、お祝いの企画を数多く用意し、笑顔あふれる楽しいデイサービスを提供しています。

「住宅型有料老人ホーム おれんじ嘉数」

「デイサービス おれんじ嘉数」

宜野湾市嘉数の静かな住宅街に立地するモダンな雰囲気が特徴の施設です。2014年4月に開設しました。1階はデイサービス施設で、ジャズやクラシック音楽の鑑賞、書道、絵画、アロマ、美容が楽しめます。2階と3階が住宅型有料老人ホームになっています。

「居宅介護支援事業所 おれんじ」

要介護、要支援認定のための申請手続き、ケアプランの作成、福祉用具やケア関連製品の利用相談など、介護に関するご相談を受けています。

## 今後の取り組み

各施設に食事を配給する給食センターの設立と、その食事の材料となる安全でおいしい食材を自前で生産する農業や養殖に取り組む予定です。それらの各職場では、障がい者の方も健常者の方も、地域で生きる仲間として助け合う風土を築きたいと考えています。

さらに、弊社独自の病院を構え、理学療養士、作業療養士、言語聴覚士の専門分野を強化し、利用者の皆さまの健康管理と地域連携を深めていきたいと考えています。

来年4月には、障がい者住宅「自立マンション」が完成する予定です。長年の願いがかない、とても楽しみにしています。（レポート 照屋 正）

※沖縄科学技術大学院大学のHPから許可を得て転載した記事です。

# 新時代の教育研究を切り拓く

～沖縄科学技術大学院大学の取り組みについて～

オキナワモズクの全ゲノム解読－モズク養殖・産業利用にむけて



沖縄科学技術大学院大学（OIST、沖縄県恩納村）と、沖縄県水産海洋技術センター（沖縄県糸満市）などは、沖縄で養殖が盛んなオキナワモズク<sup>\*1</sup>のゲノム（全遺伝情報）解読に初めて成功しました。その結果オキナワモズクのゲノムは他の褐藻<sup>\*2</sup>に比べて小さく、遺伝子数も少ないことが明らかになりました。また、褐藻に特徴的なヌメリ成分に多く含まれ、健康機能性が報告されている多糖類<sup>\*3</sup>のひとつ「フコイダン<sup>\*4</sup>」の合成に関わると考えられる遺伝子の一部が融合していることが明らかになりました。オキナワモズクのゲノム情報を利用することにより、モズク類の養殖技術や新品種の開発・改良、フコイダンなどの成分の生合成メカニズムの理解、褐藻全体の進化プロセスの解明につながることを期待されます。本研究成果は、日本時間2016年8月9日発行の英国の科学雑誌*DNA Research*に掲載されました。

## 研究の背景と経緯

春から初夏にかけて旬を迎えるモズク。秋から冬の時期にかけてモズクの種（盤状体）を養殖網に種付けし、冬の海に広げて成長させること約4ヵ月、ようやく収穫の時期を迎えます。

日本国内で養殖されるモズクの99%以上は沖縄県で生産されており、その9割以上はオキナワモズクです。沖縄県ではモズクの大量養殖技術の確立に成功し、重要な水産品の一つとなっています。2006年にはオキナワモズクの生産量は年間約2万トン、出荷価格ベースの市場規模は約50億円に達しました。しかしながら2010年には生産量が1万トンを下回り、その後は1万トンから2万トンの間で変動しながら推移しています。生産量を変動させる主な原因は、冬場の日照不足などといった天候の影響ではないかと考えられ

ています。オキナワモズクの生産を安定させることは喫緊の課題となっています。

さらにオキナワモズクを含む褐藻類は、海洋での生物の棲家となる藻場を構成し、沿岸域生態系の最も重要な要素となっています。つまりモズクを含む褐藻について知ることは、藻場に生息する生物の多様性を保護することにもつながります。

オキナワモズクの養殖技術向上のためには、まず、オキナワモズクがどのような生物であるかを詳しく知る必要があります。ゲノムはすべての遺伝情報が詰め込まれた、生物を知る上で欠かすことのできないものです。しかしながら、オキナワモズクなどの褐藻を含む藻類のゲノム情報は、わずかししか解読されていません。そこで研究チームは、その第一歩として、オキナワモズクのゲノム解読に取り組みました。

## 研究手法と成果

研究チームはOISTの次世代型シーケンサーを駆使して、オキナワモズクのS株※<sup>5</sup>（品種名:イノ一の恵み）の全ゲノムを解読することに成功しました。褐藻綱ナガマツモ目の生物において、初めてゲノム解読がなされた種となります。その結果、以下のことが明らかになりました。

### 1.オキナワモズクは比較的小さなゲノム

解読の結果、オキナワモズクのゲノムの大きさは1億4,000万塩基対であり、その中に13,640個の遺伝子があることを突き止めました。これまでに褐藻の仲間ではゲノムが解読されている、シオミドロとマコンブの、それぞれ2億1,400万塩基対（遺伝子数16,256個）、5億4,500万塩基対（遺伝子数18,733個）よりも小さいことが明らかになりました。コンパクトなゲノムを持つオキナワモズクは、以下の利点があると考えられます。

- ・今後、オキナワモズクの他の株を調べていく時に解析量が少なくすむ。
- ・同じ機能をもつ遺伝子（遺伝子コピー）が少なく、各品種を特徴付ける遺伝子同定が容易である。

これらの事実を利用することにより新品種開発を加速化させることができるだけでなく、今後の遺伝子研究を行う上で実験モデル生物として便利に活用できる可能性があると言えます。

### 2.フコイダン生合成に関与する遺伝子の一部が融合

フコイダンはモズク、ワカメ、コンブなどの褐藻のみが持つ多糖類の一種であり、その健康への効果が近年注目を集めています。モズク類は其中でも特に多くのフコイタンを含んでいることが知られていますが、これまでその理由はよくわかっていませんでした。本研究により、オキナワモズクではフコイタン合成に関与すると考えられる二つの遺伝子が一つに融合しており、さらにその隣にフコイタン合成の最終ステップに関与しそうな遺伝子が並んで存在することが明らかになりました。共同で働く遺伝子が並んで存在するこ

とは、微生物ゲノムでよく知られています。この遺伝子領域を比較解析することにより、モズク類がフコイタンを豊富に作れる理由を明らかにすることができる可能性を示唆しています。

## 今回の研究成果のインパクト・今後の展開

本研究を行った、OISTマリンゲノミクスユニット海藻研究チーム（将口栄一グループリーダー）の西辻光希研究員は、「今回の研究により、モズク研究の第一歩が踏み出されました。沖縄特産の海藻のゲノム解読が、ここ沖縄で行われたことは非常に意味があります。この研究の成果によって沖縄県でのモズク養殖に貢献するだけでなく、日本国内でのモズク研究を沖縄からリードしたいと思っています」と述べています。沖縄県恩納村瀬良垣漁港に今年新たに設置されたOISTマリン・サイエンス・ステーションも活用することにより、短期的な視点と長期的な視点の両方から、ゲノム情報を用いたモズク類の養殖技術の改善や品種改良を行いたいと考えています。さらにはモズクを含む褐藻全体の進化の謎に迫りたいと考えています。

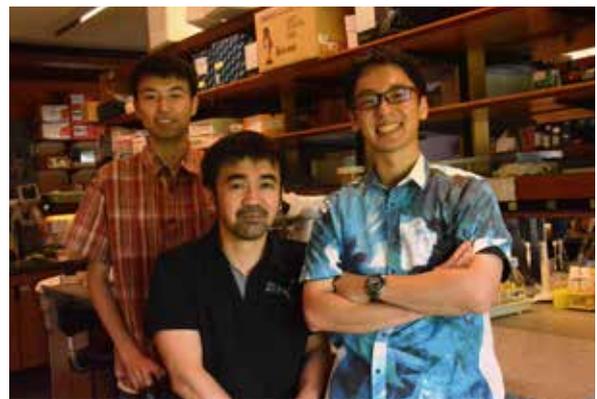
県水産海洋技術センターでモズク養殖やモズク株の専門家として活躍する岩井憲司主任研究員は、「沖縄のモズク養殖現場における最大の課題は生産を安定させることです。生産が不安定な要因は環境の影響が大きいと考えられていますが、今後はモズクの交雑技術開発に取り組み、様々な環境に対応できる品種育成を進める計画です。今回解読されたモズクの全ゲノム情報は、交雑した株を客観的に判断する技術として有意義に活用できると期待しています。また、モズクにはフコイタン等の機能性成分が含まれていますが、ゲノム情報から機能性成分を高含有する株を選抜する可能性も考えられ、モズクの付加価値向上への期待も広がります」と、本研究成果に基づいて沖縄県からさらに優れた水産品が生まれることへの期待を高めています。

## 用語説明

- ※1 オキナワモズク：褐藻綱ナガマツモ目ナガマツモ科に属する食用の海藻であり、日本で食用にされている6種のモズクのうちのひとつ。1970年代に沖縄で養殖技術が確立された。その生活環には無性世代と有性世代がある。食品として利用される一方、その成分を抽出したサプリメントなどの製造原料としても利用されている。オキナワモズクは、褐藻綱ナガマツモ目に属する生物としては世界で初めてゲノム解読された。
- ※2 褐藻：モズク、ワカメ、コンブ、ひじきなどの海藻が属し、クロロフィルやフコキサンチンの影響により、一般に褐色を示す特徴がある。進化的に最も新しい海藻類と考えられており、これまでに約300属2,000種が記載されている。うち日本では約120属400種が報告されている。
- ※3 多糖類：生物が作り出す物質の一種であり、繊維、化粧品、食品や医療など様々な分野で使用されている。モズクの粘性を生み出す物質でもあり、アルギン酸やフコイダンが含まれる。
- ※4 フコイダン：ポリフコースの主鎖に硫酸基、ウロン基などが結合した多糖類の総称。この十数年に生理機能が研究された結果、抗血栓作用、抗炎症作用、抗ウイルス作用、免疫調節作用などが報告されて、現在も研究が行われている。最近では創薬や栄養機能食品、化粧品の分野など幅広く使用されている。
- ※5 S株：品種名「イノーの恵み」。2008年、特異的に長く生長していた野生のモズク藻体を沖縄県海域で発見し、沖縄県水産海洋技術センターでその株の単離培養を行った。この株を用いて養殖試験を行った結果、形質の再現性が確認できたことから、品種登録制度に出願し、平成27年9月29日付けで「イノーの恵み」としてナガマツモ目ナガマツモ科の海藻としては初めて承認された。



海で養殖されているモズク（伊是名島）  
（撮影者：須藤裕介）



（左から）OISTマリンゲノミクスユニットの有本飛鳥博士、  
蔭口栄一グループリーダー、西辻光希博士



オキナワモズク（撮影者：須藤裕介）



養殖もずくの収穫（撮影者：須藤裕介）



OISTではキャンパスツアー（ガイド付もしくは自由見学）を行っています。詳細は地域連携セクション 098(966)2184 までお問い合わせください。

OISTについてより詳しくお知りになりたい方は[www.oist.jp](http://www.oist.jp) をご覧下さい。

## カップルアニバーサリーツーリズム拡大事業



### 1. 沖縄リゾートウエディングとは

「沖縄リゾートウエディング」とは、県外や海外に在住する新郎新婦が、沖縄ならではのロケーションでウエディングを挙げることを目的に来県して行うウエディングのことです。人気のチャペルウエディングだけでなく、フォトウエディングやビーチウエディング、レストランウエディング、琉装ウエディングなど、こだわりに応じたさまざまな挙式スタイルで行われています。

### 2. 沖縄リゾートウエディングの動向

2015年1月～12月の沖縄リゾートウエディング実施組数は、対前年比117.5% (2,107組増) の14,175組を記録し、国内客、海外客ともに過去最高となりました。内訳は国内組数が対前年比116.2% (1,771組) の12,717組、海外組数が対前年比129.9% (336組増) の1,458組です。

増加の背景には、下記の要因が挙げられます。

#### 【国内要因】

- (1) 国内でのプロモーションが功を奏し、首都圏のみならず地方都市でも認知度が確実に向上していること。
- (2) 海外挙式にこだわらず、参列者のことを考えて「身近でパスポートなしで行けるリゾート地沖縄」を選択する客層が増えていること。

- (3) 魅力的なチャペルや多様な挙式スタイルが、さまざまな客層に選ばれていること。

#### 【海外要因】

- (1) 本県の入域外国客数全体の88%を占める香港と台湾において、ウエディングやフォトロケーションとして沖縄が非常に人気であること。
- (2) 海外でのWEBやソーシャルネットワーク、ウエディング販売会によるプロモーションおよび誘客施策が奏功していること。
- (3) 香港においてリーガルウエディングの需要が高いこと。  
※リーガルウエディングとは、海外での挙式の際に婚姻の法的手続きも同時に行うスタイル。
- (4) 県内のブライダル事業者が、中国語や英語などの外国語で対応できる人材を揃え、受入体制を築いている成果が表れていること。





### 3. カップルアニバーサリーツーリズム拡大事業の取り組み

沖縄県およびOCVBは、今年度より新規事業としてカップルアニバーサリーツーリズム拡大事業を実施します。

同事業は、前年度まで誘客テーマとしていたリゾートウエディングに加えて、プロポーズ、ハネムーン、バウ・リニューアルなどの「カップルアニバーサリー」にテーマを拡大した内容となっています。

バウ・リニューアル (Vow Renewal) とは、新たな誓いという意味で、結婚記念日などの節目にカップルが感謝を伝え、再び愛を誓い合う儀式をいいます。欧米を主流に近年広がりを見せており、チャペルやビーチなどを利用した多様なスタイルで実施されています。

当事業の誘客ターゲットは、カップル旅行を行う若い世代（大学生～新社会人）からバウ・リニューアルを行うシニア層と、幅広い年齢層を対象とします。

人生の節目で行われるアニバーサリーツアーは、幸せな思い出として残るため、リピーターとなる可能性が高く、また消費単価が高いことがメリットに挙げられます。当事業は、カップルで訪れる旅行先として国内外から選ばれるようにブランド力を強化し、もって「カップルアニバーサリー」前後の観光によって滞在日数の増加を促し、経済効果を観光産業へ波及させることを目的としています。

### 4. カップルアニバーサリーツーリズム拡大事業の内容

#### 【国内プロモーション】

首都圏および国内定期便のある地方都市のカップルに対し、旅行博覧会などへの出展や広告媒体の活用により、認知度の向上や潜在需要の掘り起こしを行います。広告媒体と模擬挙式などのリアルイベントを同時期に展開することで「沖縄」というワードを印象付け、相乗効果を生むことを目的としています。

首都圏においては、ツーリズム EXPO ジャパン、横浜チャンプルーカーニバル、OZ 女子旅 EXPO などのイベントを活用した情報発信や、全国紙での広告展開を実施します。

地方都市においては北海道、愛知県、大阪府、石川県、福岡県においてローカル紙へ広告を掲載し、沖縄で過ごす「カップルアニバーサリー」の認知度の向上と、地域で行われる沖縄フェアへの誘導を図ります。

#### 【海外プロモーション】

リゾートウエディング拡大地域である香港、台湾を重点市場に定め、媒体紙やWEB・SNSを活用した広告展開、およびウエディング EXPO や個別販売会の開催により、戦略的に誘客プロモーションを展開していきます。

### 5. 情報発信

OCVBの公式WEBサイト「沖縄リゾート

ウエディング」において、新たなテーマであるプロポーズ、ハネムーン、バウ・リニューアルなどの「沖縄アニバーサリーストーリー」を掲載し、国内外に対して沖縄アニバーサリーの魅力あるコンテンツおよび関連する事業者の情報を発信していきます。また、Facebook や Instagram、Pinterest などの SNS を活用して情報拡散を図ります。

(沖縄リゾートウエディング公式サイト)

<http://www.okinawastory.jp/special/wedding/>

(沖縄アニバーサリーストーリー)

<http://www.okinawastory.jp/special/wedding/anniversary-story/>



## 6. 受入体制強化

国内、海外客をきちんと受け入れられる体制を強化するため、県内の関係機関と情報を共有する連絡会を年3回開催します。また、関連事業者が参画できる「ハッピーアニバーサリーキャンペーン」を実施し、一体となって情報発信および誘客プロモーションを展開していきます。

<http://www.okinawastory.jp/special/wedding/campaign2016/>



一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー  
〒901-0152 沖縄県那覇市字小緑 1831 番地 1  
(沖縄産業支援センター 2 階)  
電話番号：098-859-6126 FAX：098-859-6221

広報チーム mail：pub@ocvb.or.jp

# HONG KONG

## アジア便り 香港 vol.100



レポーター  
村井 俊秀 (琉球銀行)  
沖縄県香港事務所に出向中  
(副所長)

## 「長寿社会」香港と、 香港でのイベント

### はじめに

皆様こんにちは。沖縄県香港事務所の村井です。暦の上では秋に入っておりますが、沖縄同様まだまだ暑い日が続いている香港です。私の中では11月が最も秋らしく、1年で一番過ごしやすい時期ではないかと感じています。

今回は、沖縄といえば連想されやすい「長寿」に関する香港の状況と当所が携わったイベントのご紹介をさせていただきます。

### 1. 平均寿命世界一の香港

先日、厚生労働省から、日本人の平均寿命が発表され、男性が80.79歳（世界第4位）、女性が87.05歳（世界第2位）になったことが分かりました。気になる世界第1位はどこかという、男女共に香港人（男性81.24歳、女性87.32歳）という結果になりました。

香港は世界的に見ても人口密度が高く、騒音に包まれ、ストレスフルな環境というイメージが強いかと思います。決して生活環境が良いとは言えず、政治的・社会環境においても常に不安がつきまとっている香港人。これを聞いて驚いた方も多いかと思いますが。なぜ世界一の平均寿命となった

のでしょうか。理由を探ってみました。

まず、最初に考えられるのが香港は医食同源の考え方があるということです。食生活をはじめ日々の生活習慣が病気を予防するという考え方が普及しており、知識だけでなく実践している人がたくさんいます。体を温める食べ物、体を冷やす食べ物、それを自分の体調や季節に合わせて食する。食べ合わせにも気を付けています。また、日頃からお茶を多く飲んでいることも特徴です。

少し脱線しますが、厚生労働省が発表するがん死亡率が少ない自治体の上位を見ていくと、掛川市、磐田市、藤枝市、浜松市といった名前が上がります。これらに共通するのは静岡県の自治体だということです。静岡県といえば「お茶」。静岡県民は全国の自治体に比べお茶を飲む量が多いのが特徴です。このことからお茶は健康維持に重要な役割を果たしていることがお分かり頂けるのではないのでしょうか。

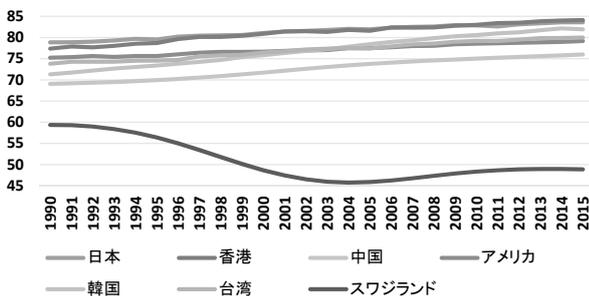
次に考えられるのが医療水準です。平均寿命という統計値の長短に大きく影響するのは新生児乳幼児の死亡率の高低にあります。世界で平均寿命が長いといわれている日本と香港は、出生直後から幼児期に至るまでの死亡率が極めて低いことが共通しています。このことはアフリカ諸国の新生

児乳幼児の死亡率の高さと同地域の平均寿命からも明らかではないでしょうか。つまり、医療レベルが非常に高いこと、医療費を気にすることなく病院で出産できる、異常分娩などにも即座に対応できる、たとえ未熟児で生まれてきたとしても保育器の中で集中的にケアを受けることができる環境を整備することが平均寿命押し上げの第一歩といえるわけです。

しかしながら、医療レベルが非常に高いということは逆に言えば、簡単には死なせないということも言えます。つまり、介護を必要とするようなお年寄りが増えるわけです。まさに現代社会を象徴しているのではないのでしょうか。超高齢化社会を迎える、もしくは既に迎えている現代社会において、家族による介護も大きな問題となっています。

「ぴんぴんころり」という言葉を最近よく耳にするとかと思えます。これは病気に苦しむことなく、元気に長生きし、病まずにコロリと最期を迎えようという生き方を表す言葉です。案外、これを望んでいる方がかなり多いのではないのでしょうか。平均寿命と健康寿命の差をいかに縮めるかが、日本人・香港人にとって共通の課題と言えるかもしれません。そのためには普段からの生活習慣には気を付けなければなりません。

主要国平均寿命推移



※スワジランドは世界で最も平均寿命の短い国です(次の表も参照)。

● 直近主要国平均寿命

(単位:歳)

国・地域名	2015年
香港	84.10
日本	83.56
韓国	81.91
台湾	79.98
アメリカ	79.15
中国	75.98
スワジランド	48.87

出典：推移表とともに厚生労働省



ビクトリアパークでの太極拳風景

続いて当所が携わった2つのイベントについて紹介したいと思います。

2. AEON 沖縄フェア(9月14日～9月20日)

AEON ワンポア店のリニューアルオープンに合わせ沖縄フェアが開催されました。同店舗は日本人が多く住むホンナム地区に立地しており、また、10月23日にはMTR 観塘線の新たな駅としてワンポア駅がホームテンション駅と同時に開通します。同店舗はそのワンポア駅の目の前に立地しており今後更なる来客者増加が見込まれています。

フェアでは既存の沖縄商品以外にオクラや葉野菜といった新たな商品が販売され、今後の県産食材の更なる販路拡大を予感させるものとなりました。

また、フェア期間中は星の砂の瓶詰め体験が実施され、沖縄から招聘した芸能団においては、沖縄の獅子舞と香港の獅子舞とコラボレーションを行うなど多くの来場者に沖縄を楽しんで頂くことが出来ました。



AEON 沖縄フェアの風景（4枚とも）

### 3. インターコンチネンタル香港沖縄ビュッフェフェア（9月19日～10月30日）

香港の高級ホテルのうちの一つに数えられるインターコンチネンタルホテルにて沖縄ビュッフェフェアを実施しています。

皆様が当誌を読まれている今も開催しておりますが、初日にメディア向けにオープニングセレモニーを開催しました。

同ホテルにて沖縄ビュッフェフェアを開催するのは初の試みであり、このような規模でセレモニーを行うのも初という初物尽くしのイベントとなりました。セレモニーでは琉球舞踊の演舞や県産マグロの解体ショーなど内容の濃いものとなりました。また、インターコンチネンタル万座ビーチホテルよりお二人のシェフを招き、沖縄料理を直接香港のシェフに伝える試みも行いました。単に食材を取扱ってもらおうと紹介しても当地のシェフは調理法を知らないため、このような地道な活動が県産品の販路拡大に非常に重要ではないでしょうか。

このような場所でフェアを行うことで沖縄の認知度並びに価値を高められればと思います。



インターコンチネンタル香港沖縄ビュッフェフェアオープニングセレモニー風景（上、下）

#### 4. B to B 試食商談会 in インターコンチネンタル香港 (9月20日)

インターコンチネンタルでの沖縄ビュッフェフェアに併せて商談会を実施しました。

今回の商談会はより多くの沖縄県産品の認知度向上、取扱量増加をコンセプトに置き、多店舗展開しているレストランチェーンや航空会社、クルーズ会社といった新たな企業を招きました。

また、招聘した沖縄のシェフに県産食材の創作料理を考案して頂くといった新たな試みも行いました。県産食材は沖縄料理だけでなく様々な料理に使える汎用性を持つことを訴えることで、より手に取りやすい食材であることをPRするのが狙いです。

商談会では各社県産品に非常に興味を持って頂くことができ、新たなビジネスに繋がる商談が数多くなされました。



商談会風景

#### 最後に

沖縄県香港事務所は今期もまだまだイベント盛り沢山です。今後も様々なイベントをご紹介しますと思います。

当所では、日頃から県内企業、個人の皆様から香港に関する多くのご質問を頂いております。香港市場に関することにつきまして是非お気軽にお問い合わせ下さい。

沖縄県香港事務所

Tel : (852) 2968-1006

Fax : (852) 2968-1003

E-mail :okinawaopg@bizetvigator.com



試飲会風景



商談会風景



## 🔊 入会のご案内

琉球銀行の経営理念である「地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展に寄与する銀行」を实践するべく、お取引先企業への情報支援サービスの提供を目的に会員制組織「りゅうぎんビジネスクラブ」を設立し、各種セミナーの開催や情報のご提供、県外での商談会など様々なサービスを実施しております。

### サービスのご案内

■各種セミナーの開催による情報等の提供  
ビジネスクラブ会員企業トップと弊行役員との親睦の場を兼ねたトップセミナーや実務セミナーに無料で参加いただけます。

【最近の実績】

H27. 2.26 森永卓郎氏「トップセミナー」  
H27. 6. 3 若手営業担当者向けセミナー  
H27. 8. 4 管理職向けリーダーシップセミナー  
H27.10.20 経営者層向けセミナー  
H28. 2. 2 岩田松雄氏「トップセミナー」  
H28. 5.24 「ビジネスに効く！コミュニケーション術とアンガーマネジメント」

■「りゅうぎんマネジメントスクール」の開講

企業経営者や経営幹部を対象にした、ビジネススクールの運営を実施しております。

※別途受講料が必要になります。

【著名な講師例】

・第1期 酒巻 久 キヤノン電子㈱社長  
・第2期 鈴木 喬 エステー㈱会長  
・第3期 出口 治明 ライフネット生命保険㈱会長兼CEO  
・第4期 宗次 徳二 ㈱志番屋 創業者特別顧問  
・第5期 高田 明 ㈱A and Live 代表取締役  
(ジャパネットたかた 前社長)

■「経営参考小冊子」の定期配送

企業運営に有益な情報が盛り込まれた「経営参考小冊子」をお届けいたします。

【内容例】

・部下をやる気にさせる上司のひと言  
・どんな仕事もうまくいく「気づかい」の習慣

■「りゅうぎんビジネスフラッシュ」定期配信

税務・会計・法務・人事・労務など、経営のお役に立つ情報レターを毎週FAX配信いたします。

【内容例】

・「最少時間」で「最高の結果」を出す！  
・若手社員向け・簡単な「経営指標」の見方

■専門家派遣サービス

公認会計士・税理士・司法書士・中小企業診断士・社会保険労務士・行政書士などの各種専門家を無料で派遣し、会員企業様の「経営課題」に対し、会員企業様・専門家・琉球銀行が一体となって取り組むサービスです。

※1社につき年1回ご利用になれます。

■りゅうぎんビジネスサイトによる経営情報等の提供<sup>1</sup>

「会員専用サイト」を利用した、タイムリーな各種経営情報の提供をおこなっております。

【内容例】

・産業別ニュース21 ・ビジネスレポート  
・経営課題解決ナビ ・ビジネスマッチング

### その他のサービス

■融資利率の優遇

りゅうぎんビジネスクラブ会員企業の皆様に一部融資商品(ベストサポーター、順風満帆)について、融資金利の優遇を実施しております<sup>2</sup>。詳細は取引店担当者にお問い合わせ下さい。

りゅうぎんビジネスクラブ  
入会申込方法  
年会費 20,000円

- 1 「りゅうぎんビジネスクラブ入会申込書」及び「りゅうぎんビジネスサイト利用申込書」に必要事項を記入の上、取引店担当者に提出下さい。
- 2 入会金は不要です。
- 3 年会費は20,000円です。 ※お申込月の翌々月4日ご指定口座より引落となります。

### お問い合わせ

「りゅうぎんビジネスクラブ事務局」(琉球銀行コンサルティング営業部内)  
**TEL:098-860-3817** (担当:比嘉、真栄城)までお願いいたします。

<sup>1</sup> 別途りゅうぎんビジネスサイトへの申込(無料)が必要になります。

<sup>2</sup> 審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。

## レポート

### 第6期「りゅうぎんマネジメントスクール」を開催しました

りゅうぎんビジネスクラブ(代表 金城 棟啓)では、平成28年9月2日(金)、沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハにて、第6期「りゅうぎんマネジメントスクール」の最終講義と修了式及び懇親会を開催致しました。

当スクールは、当行お取引先の経営者や後継予定者、経営幹部の方を対象に、6カ月間(全6回、7コマ)にわたり著名講師による講義を実施し、経営戦略・マーケティング・経営法務・財務会計・事業承継など、企業経営に必要な知識を体系的に習得することを目的としたビジネススクールです。今まで327名の卒業生を輩出しており、每期募集を開始するとすぐに席が埋まる人気のスクールです。

今期の最終講義には、ブックオフコーポレーション株式会社取締役相談役の橋本真由美氏を講師に迎え「最強の現場の創り方～人を育む企業に不況はない」と題して講演をしていただきました。

橋本真由美氏は、結婚前、栄養士として病院に勤務していましたが、結婚を機に退職して専業主婦を続けておられました。41歳の時に、娘2人の学費の足しにと、ブックオフ1号店でオープニングスタッフとしてパート勤務を始めたのが、ブックオフ人生のスタートとなり、同社の成長とともに自身も経験をつみながら若い店長や幹部社員を次々と育て上げ、会社の転換期を何度も乗り越えてきた“ブックオフの母”と呼ばれている人物です。受講者からは「あっという間の1時間半だった」「働くことの魅力を教えていただき大変参考になった」という声が聞かれました。

講演の後には、修了式が執り行われ、金城頭取より57名の修了生に修了証書が手渡され、続いての懇親会では、当行の職員も加わり親睦を深めました。

りゅうぎんマネジメントスクールは来期も実施の予定です。



講演中の橋本氏



会場の様子



修了生と講師、金城頭取

教育ローンもりゅうぎん 

# りゅうぎん教育ローン



県内地銀  
唯一!

安心の  
団信生命保険付き 

万が一のときもローン残高が0円

合格前の  
事前予約OK 

合格の3ヶ月前から審査可能

(+0.2%で団体信用生命保険の付保が可能です) ※団信付保は、しあわせの教育ローン(証書貸付型)のみ

幼稚園から大学院、塾の費用までの教育にかかる全般に、ご利用になれます。

入学金

入居先の  
敷金・家賃など

留学費用

在学期間中  
の仕送り

他行の教育を目的  
としたローンの借換

選べる  
2タイプ!

お借入れ枠設定型

しあわせの合格バンザイ

最高1,000万円まで ※有担保の場合

一括お借入れ型

しあわせの教育ローン

最高2,000万円まで ※有担保の場合

詳しくは、りゅうぎん窓口または下記のフリーコールまでお問い合わせください。



0120-38-8689

サア ハローバンク

受付/9:00~22:00  
(銀行休業日は除きます。)



琉球銀行

ご注意:金利情勢の動向によっては適用金利を変更する場合がございます。審査の結果によってはご希望に添えない場合がございます。

平成28年8月31日現在

沖縄総合事務局経済産業部の  
最近の取組について

## 省エネルギーの普及・啓発の 取組

### (1) 省エネルギー関連パネル展

9月1日(木)～4日(日)の期間中、「省エネルギー設備導入等促進広報事業(省エネ実践教室・省エネ啓発事業及びエネルギー使用合理化シンポジウム)」の委託事業の一環として、コープおきなわあっぷるタウン店で省エネルギー関連パネル展を開催し、買い物に来た一般の方へ省エネルギーについてのアドバイスを行いました。当該パネル展では、例えば、省エネ性能の高い家電は、省エネ性能の低い家電に比べて初期投資が高くなりますが、長い目で見ると、6年目には初期投資の額と電気代を含めた額でコストが安くなるというデータを参考に、家電のみならず、事務所などにも応用可能な電気機器の更新について、最適な更新時期と方法を知り、計画的に導入を行うことで、効果的に省エネルギー化及びコスト削減を進めることが可能になることなどを紹介しました。

省エネの普及・啓発は当該パネル展での紹介のほか、家庭及び事業所等の省エネ取組については、下記の資源エネルギー庁ホームページで情報提供を行っておりますので是非御活用ください。

[http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving\\_and\\_new/saving/](http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/)



省エネルギーについてアドバイスをしている様子  
(パネル展協力：沖縄県地球温暖化防止活動推進センター)

### (2) 沖縄総合事務局「子ども見学デー」における省エネパネル展示・体験教室の開催

8月3日(水)に沖縄総合事務局内で行った「子ども見学デー」は、子どもたちが広く社会を知る体験活動の機会を設けるとともに、行政の仕事に関心を持ってもらい理解を深めてもらうことを目的とし開催しました。

子ども見学デーには、局の6つの部から出展した22個のプログラムに、567名の来場者(子ども352名、大人215名)が訪れ、会場を盛り上げました。そのプログラムの1つとして、「省エネ体験教室～エネルギーを体験しよう!～」と題し、次世代を担うこどもたちを対象に、風力発電の工作や自転車発電を体験してもらい、エネルギーの大切さや、「なぜ省エネが必要なのか」について啓発を行いました。

また同時に開催した省エネルギー関連パネル展では断熱ガラスの模型を設置し、電球を太陽に見立て、家の断熱によってできる省エネについて紹介するとともに、省エネクイズでは家庭で実践できる省エネ行動のための工夫について紹介しました。



自転車発電でLEDと白熱球の光り方の違いを比較する様子



断熱ガラスと通常のガラスに手を触れ熱を体感している様子

最後となりますが、家庭や事業所などのエネルギー使用量が増大傾向にあり、省エネの必要性はさらに高まっています。そのため、今後も当局では、地方自治体及び関係団体と連携し家庭や事業所などへきめの細かい省エネサポート及び啓発を図ることを目指していきます。

 内閣府沖縄総合事務局  
経済産業部

■本記事に関するお問い合わせについて  
内閣府沖縄総合事務局経済産業部エネルギー対策課

**TEL : 098-866-1759**

<http://ogb.go.jp/keisan/index.html>

# 県内大型プロジェクトの動向

事業名：農連市場地区防災街区整備事業

種別：公共 **民間** 3セク

関係地域	那覇市							
事業主体	主体名：那覇市農連市場地区防災街区整備事業組合 所在地：那覇市樋川2丁目6番1号 兼城ビル2階 電話：098-855-7318							
事業目的	<p><b>マチグー文化の継承</b>                  農連市場を最も特徴づける風景である、相対売り。「県民の台所」として60年もの歴史を刻んできた、この農連市場の「相対売り」が象徴するマチグー文化を継承する。</p> <p><b>緑豊かな都市空間の整備</b>                  歩行者にやさしい歩道整備と併せて、緑溢れる「みちづくり」を行う。また、各施設の広場や溜まり空間に多くの緑陰を整備して、ゆとりある「まちづくり」を行う。</p> <p><b>防災性能の向上</b>                  防災機能の確保と土地の合理的かつ健全な利用を図る。老朽建築物を除却し共同化による耐火建築物等、防災性を備えた建物の整備並びに防災公共施設の整備を行う。</p>							
事業期間	平成26年度～平成30年度							
事業規模	施行区域面積 約3.1ha							
事業費	約177億円							
事業概要 ①	事業の名称：農連市場地区防災街区整備事業 施行者：那覇市農連市場地区防災街区整備事業組合 施行地区：沖縄県那覇市樋川二丁目、樋川一丁目、松尾二丁目及び壺屋一丁目地内 権利者数：土地所有者・借地権者・建物所有者 150名（権利変換計画認可時点） ：借家権者 261名（権利変換計画認可時点） 参加組合員：那覇市、株NIPPO・株長谷工コーポレーション、学校法人つくば開成学園 特定業務代行者：金秀建設株							
事業概要 ②	<p><b>■主要な防災施設建築物の概要</b></p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <b>A-1地区 市場棟</b>                      ・主要用途／店舗                      ・敷地面積／5,809.43㎡                      ・延床面積／約13,200㎡                      ・階数／地上3階                      ・構造／鉄骨造                      ・駐車台数／約107台                 </td> <td style="vertical-align: top;"> <b>A-3①地区 駐車場棟</b>                      ・主要用途／駐車場                      ・敷地面積／2,604.79㎡                      ・延床面積／約6,150㎡                      ・階数／地上4階                      ・構造／鉄骨造                      ・駐車台数／約311台                 </td> <td style="vertical-align: top;"> <b>A-3②地区 分譲住宅棟</b>                      ・主要用途／住宅                      ・敷地面積／1,482.61㎡                      ・延床面積／約11,920㎡                      ・階数／地上19階                      ・構造／鉄筋コンクリート造                      ・駐車台数／約108台                      ・総戸数／108戸                 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <b>A-3③地区 市営住宅棟</b>                      ・主要用途／住宅・保育所                                        コミュニティ施設                      ・敷地面積／2,083.08㎡                      ・延床面積／約8,180㎡                      ・階数／地上13階                      ・構造／鉄筋コンクリート造                      ・駐車台数／約9台                      ・総戸数／70戸                 </td> <td style="vertical-align: top;"> <b>A-4③地区 権利者住宅棟</b>                      ・主要用途／住宅・店舗                      ・敷地面積／1,713.73㎡                      ・延床面積／約5,450㎡                      ・階数／地上10階                      ・構造／鉄筋コンクリート造                      ・駐車台数／約67台                      ・総戸数／59戸                 </td> <td style="vertical-align: top;"> <b>A-5地区 学校棟</b>                      ・主要用途／学校                      ・敷地面積／1,086.54㎡                      ・延床面積／約1,430㎡                      ・階数／地上4階                      ・構造／鉄骨造                      ・駐車台数／約12台                 </td> </tr> </table>		<b>A-1地区 市場棟</b> ・主要用途／店舗 ・敷地面積／5,809.43㎡ ・延床面積／約13,200㎡ ・階数／地上3階 ・構造／鉄骨造 ・駐車台数／約107台	<b>A-3①地区 駐車場棟</b> ・主要用途／駐車場 ・敷地面積／2,604.79㎡ ・延床面積／約6,150㎡ ・階数／地上4階 ・構造／鉄骨造 ・駐車台数／約311台	<b>A-3②地区 分譲住宅棟</b> ・主要用途／住宅 ・敷地面積／1,482.61㎡ ・延床面積／約11,920㎡ ・階数／地上19階 ・構造／鉄筋コンクリート造 ・駐車台数／約108台 ・総戸数／108戸	<b>A-3③地区 市営住宅棟</b> ・主要用途／住宅・保育所 コミュニティ施設 ・敷地面積／2,083.08㎡ ・延床面積／約8,180㎡ ・階数／地上13階 ・構造／鉄筋コンクリート造 ・駐車台数／約9台 ・総戸数／70戸	<b>A-4③地区 権利者住宅棟</b> ・主要用途／住宅・店舗 ・敷地面積／1,713.73㎡ ・延床面積／約5,450㎡ ・階数／地上10階 ・構造／鉄筋コンクリート造 ・駐車台数／約67台 ・総戸数／59戸	<b>A-5地区 学校棟</b> ・主要用途／学校 ・敷地面積／1,086.54㎡ ・延床面積／約1,430㎡ ・階数／地上4階 ・構造／鉄骨造 ・駐車台数／約12台
<b>A-1地区 市場棟</b> ・主要用途／店舗 ・敷地面積／5,809.43㎡ ・延床面積／約13,200㎡ ・階数／地上3階 ・構造／鉄骨造 ・駐車台数／約107台	<b>A-3①地区 駐車場棟</b> ・主要用途／駐車場 ・敷地面積／2,604.79㎡ ・延床面積／約6,150㎡ ・階数／地上4階 ・構造／鉄骨造 ・駐車台数／約311台	<b>A-3②地区 分譲住宅棟</b> ・主要用途／住宅 ・敷地面積／1,482.61㎡ ・延床面積／約11,920㎡ ・階数／地上19階 ・構造／鉄筋コンクリート造 ・駐車台数／約108台 ・総戸数／108戸						
<b>A-3③地区 市営住宅棟</b> ・主要用途／住宅・保育所 コミュニティ施設 ・敷地面積／2,083.08㎡ ・延床面積／約8,180㎡ ・階数／地上13階 ・構造／鉄筋コンクリート造 ・駐車台数／約9台 ・総戸数／70戸	<b>A-4③地区 権利者住宅棟</b> ・主要用途／住宅・店舗 ・敷地面積／1,713.73㎡ ・延床面積／約5,450㎡ ・階数／地上10階 ・構造／鉄筋コンクリート造 ・駐車台数／約67台 ・総戸数／59戸	<b>A-5地区 学校棟</b> ・主要用途／学校 ・敷地面積／1,086.54㎡ ・延床面積／約1,430㎡ ・階数／地上4階 ・構造／鉄骨造 ・駐車台数／約12台						

<p><b>事業概要</b> ② (続き)</p>	<p>■防災公共施設の概要</p> <p>道路</p> <p>牧志壺屋線／幅員約16m、延長約240m    開南線(既設)／幅員約18m、延長約220m</p> <p>神里原線／幅員約16m、延長約170m    樋川13号線／幅員約6m、延長約90m</p> <p>樋川14号線／幅員約6m、延長約35m    区画道路1号／幅員約6m、延長約55m</p> <p>区画道路2号／幅員約6m、延長約90m    区画道路3号／幅員約4m、延長約60m</p>	
<p><b>経緯</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和59年</li> <li>昭和61年</li> <li>平成5年</li> <li>平成13年11月</li> <li>平成17年</li> <li>平成18年</li> <li>平成22年03月</li> <li>平成22年04月</li> <li>平成26年05月</li> <li>平成27年09月</li> <li>平成27年11月</li> <li>平成27年12月</li> <li>平成28年03月</li> <li>平成28年04月</li> <li>平成28年末以降</li> <li>平成31年</li> </ul>	<p>整備構想案策定(住宅都市整備公団・那覇市)</p> <p>農連市場地区再開発促進協議会発足</p> <p>3者連絡会議設立(沖縄県・那覇市・沖縄経済連)</p> <p>農連市場地区市街地再開発準備組合設立</p> <p>事業協力者を選定</p> <p>防災街区整備事業への事業手法の変更が準備組合総会にて承認</p> <p>那覇市農連市場地区防災街区整備事業準備組合に名称変更</p> <p>都市計画決定(3・5・那15号牧志壺屋線、7・4・那2号神里原線)</p> <p>都市計画決定(農連市場地区防災街区整備事業及び同地区計画)</p> <p>防災街区整備事業組合の設立認可</p> <p>特定業務代行者(金秀建設株)を選定</p> <p>権利変換計画認可、権利変換期日</p> <p>既存建築物解体工事着手</p> <p>防災施設建築物工事着手</p> <p>防災公共施設工事着手</p> <p>防災施設建築物 順次竣工(予定)</p> <p>事業組合解散及び清算(予定)</p>
<p><b>進捗状況</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、ガープ川より北側(神里原側)の既存建築物の解体工事が終了し、建築工事が進捗中である。</li> <li>A-5地区とA-4③地区の建築工事がすすめられており、9月末にA-1棟(市場棟、1～2階で約120店舗)の建築工事が着工される。</li> <li>平成29年8月末に予定されている市場棟の完成を待って、南側の現在の農連市場が移転する。よって、現在の農連市場は、平成29年8月末までは、通常通り営業している。</li> </ul>	
<p><b>熟度</b></p>	<p><input type="checkbox"/> 構想段階   <input type="checkbox"/> 計画段階   <input checked="" type="checkbox"/> 工事段階   <input type="checkbox"/> 開業・供用段階</p>	

配置計画(那覇市市街地整備課提供)

鳥瞰イメージパース(那覇市農連市場地区防災街区整備事業組合提供)



## ●りゅうぎん調査● 県内の

# 景気動向

概況 2016年8月

### 景気は、拡大の動きが強まる

消費関連では、スーパーが前年を上回る

観光関連では、入域観光客が前年を上回る

8月の県内景気をみると、消費関連では、百貨店は旧盆の早まりによりお中元ギフト催事期間が前倒しとなった影響で前年を下回り、スーパーは夏物衣料の好調により前年を上回った。耐久消費財では、新車販売は普通乗用車と軽自動車为好調で前年を上回り、電気製品卸売はエアコンや白物家電の伸長などから前年を上回った。

建設関連では、公共工事は市町村、独立行政法人等・その他が増加したことから前年を上回った。建築着工床面積(7月)は居住用が増加したことから前年を上回り、新設住宅着工戸数(7月)は分譲、給与が増加したことから前年を上回った。建設受注額は、公共工事、民間工事ともに増加して前年を上回った。

観光関連では、入域観光客数は国内客、外国客ともに増加したことから、引き続き前年を上回った。主要ホテルでは、稼働率、売上高、客室単価のいずれも前年を上回った。

総じてみると、消費関連、観光関連が好調に推移し、建設関連も概ね好調なことから、県内景気は拡大の動きが強まっている。

## 消費関連

百貨店売上高は、旧盆の早まりでお中元ギフトの催事期間が前倒しとなった影響などから減少し、28カ月ぶりに前年を下回った。スーパー売上高は、食料品は、前年より休日が1日減ったことや旧盆の早まりで関連需要の一部が7月にシフトしたことなどから減少したが、衣料品は前年より気温が高く推移したことから夏物衣料の売上が増加し、17カ月連続で前年を上回った。新車販売は、普通自動車と軽自動車とともに増加し5カ月連続で前年を上回った。電気製品卸売販売額は、エアコン需要の増加や、白物家電の販売が好調なことなどから増加し、2カ月連続で前年を上回った。

先行きは、高い消費マインドや外国人観光客の増加などから引続き好調を維持するとみられる。

## 建設関連

公共工事請負金額は、市町村、独立行政法人等・その他が増加したことから、2カ月連続で前年を上回った。建築着工床面積(7月)は、居住用が増加したことから6カ月ぶりに前年を上回った。新設住宅着工戸数(7月)は、分譲、給与が増加したことから3カ月ぶりに前年を上回った。県内主要建設会社の受注額(速報値)は、公共工事、民間工事ともに増加したことから、2カ月連続で前年を上回った。建設資材関連では、セメント、生コンは公共工事向け出荷の減少などにより前年を下回った。鋼材は単価の低下などから前年を下回り、木材は住宅関連工事向け出荷の減少などから前年を下回った。

先行きは、公共工事や新設住宅着工が高水準で推移することが予想され、引き続き概ね好調な動きが続くものとみられる。

## 観光関連

入域観光客数は、47カ月連続で前年を上回った。国内客は5カ月連続で前年を上回り、外国客は37カ月連続で前年を上回った。方面別では台湾、中国本土、韓国などからの入域が観光客数増加に寄与した。

県内主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊客室単価ともに前年を上回った。主要観光施設入場者数は5カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに再び前年を下回った。

先行きは、外国客の旺盛な旅行需要を背景に、好調に推移するものとみられる。

## 雇用関連・その他

新規求人数は、前年同月比12.1%増となり2カ月ぶりに前年を上回った。産業別にみると、運輸業・郵便業、卸売業・小売業などで増加し、情報通信業、公務・その他などで減少した。有効求人倍率(季調値)は1.00倍と、前月より0.04ポイント低下した。完全失業率(季調値)は3.5%と前月より1.0%ポイント改善した。

消費者物価指数(総合)は、食料などが上昇したが、光熱・水道および交通・通信などは下落したことから、前年同月比0.3%減と4カ月連続で前年を下回った。

企業倒産は、件数が4件で前年同月を2件下回った。負債総額は1億4,300万円となり、前年同月比95.1%の減少だった。

# 2016.8

りゅうぎん調査

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 ( 2016.6-2016.8 )
<b>消費関連</b>		
(1) 百貨店(金額)	▲ 0.9	5.8
(2) スーパー(既存店)(金額)	0.1	2.5
(3) スーパー(全店)(金額)	0.5	3.0
(4) 新車販売(台数)	15.6	3.9
(5) 電気製品卸売(金額)	2.9	▲ 2.8
<b>建設関連</b>		
(1) 公共工事請負金額(金額)	7.0	▲ 9.4
(2) 建築着工床面積(m <sup>2</sup> )	(7月) 0.3	(5-7月) ▲ 8.2
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(7月) 5.1	(5-7月) ▲ 8.8
(4) 建設受注額(金額)	P 33.4	P ▲ 7.6
(5) セメント(トン数)	▲ 11.4	▲ 8.7
(6) 生コン(m <sup>3</sup> )	▲ 17.7	▲ 18.4
(7) 鋼材(金額)	▲ 8.6	▲ 16.0
(8) 木材(金額)	▲ 12.2	▲ 11.0
<b>観光関連</b>		
(1) 入域観光客数(人数)	16.2	15.3
うち外国客数(人数)	50.0	42.5
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P 2.5	(前年同期差) P 1.4
	(実数) P 89.7	(実数) P 84.9
(3) " 売上高(金額)	P 6.1	P 6.3
(4) 観光施設入場者数(人数)	5.0	7.1
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	▲ 1.4	2.3
(6) " 売上高(金額)	▲ 2.2	0.5
<b>その他</b>		
(1) 県内新規求人数(人数)	12.1	9.2
(2) 有効求人倍率(季調値)	(実数) 1.00	(実数) 1.02
(3) 消費者物価指数(総合)	▲ 0.3	▲ 0.3
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) ▲ 2	(前年同期差) ▲ 9
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(7月) ▲ 1.9	(5-7月) 0.4

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 百貨店は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

(注3) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

(注4) 主要ホテルは、2016年7月より調査先を26ホテルから25ホテルとした。

(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

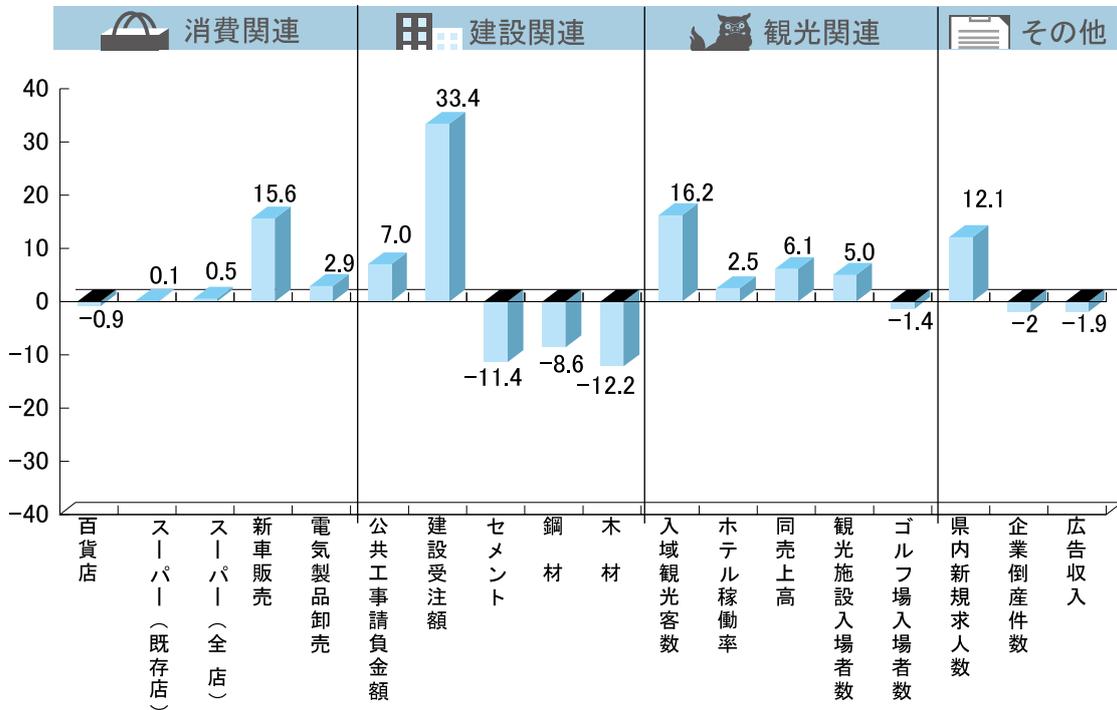
消費関連

建設関連

観光関連

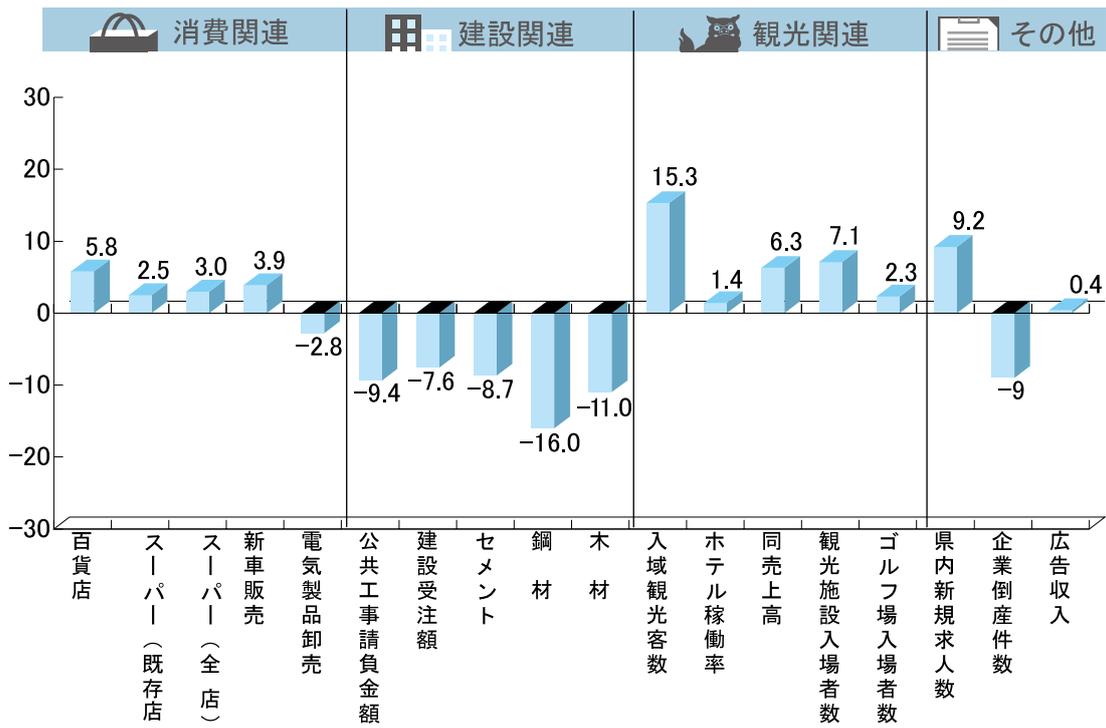
その他

項目別グラフ 単月 2016.8



(注) 広告収入は16年7月分。数値は前年比(%)。  
ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。

項目別グラフ 3カ月 2016.6~2016.8



(注) 広告収入は16年5月~16年7月分。数値は前年比(%)。  
ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は3カ月の累計件数の前年差。

消費関連

建設関連

観光関連

その他

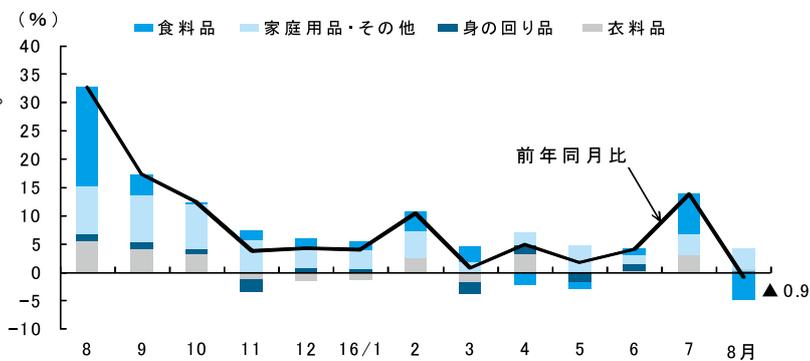
# 消費関連

## ① 百貨店売上高 (前年同月比)

※棒グラフは品目別寄与度

### 28カ月ぶりに減少

- 百貨店売上高は、前年同月比0.9%減と28カ月ぶりに前年を下回った。衣料品は、呉服の伸長や販促効果などから増加し、身の回り品は、関連催事の開催で増加した。家庭用品・その他は、化粧品の伸長や外国人観光客の消費が好調なことなどから増加した。食料品は、前年より旧盆が早まりお中元ギフトの催事期間が前倒しとなった影響などから減少し、全体を押し下げた。
- 品目別にみると、衣料品(同1.5%増)、家庭用品・その他(同11.8%増)、身の回り品(同1.4%増)は増加し、食料品(同15.7%減)は減少した。

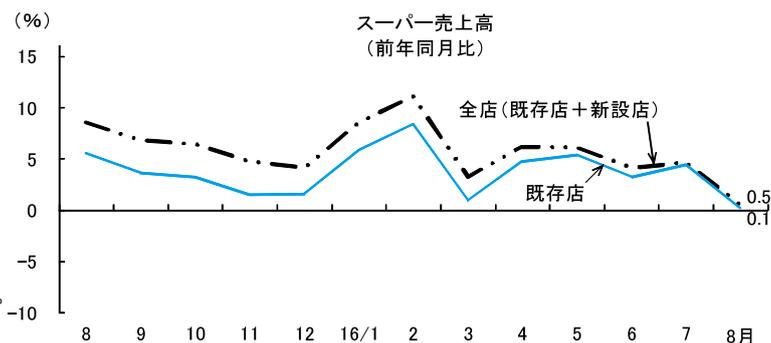


(注)2014年9月より調査先百貨店が一部変更となった。  
出所:りゅうぎん総合研究所

## ② スーパー売上高 (前年同月比)

### 全店ベースは17カ月連続で増加

- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比0.1%増と17カ月連続で前年を上回った。
- 食料品は、野菜の高騰の影響や、前年より休日が1日減ったこと、旧盆の早まりで関連需要の一部が7月にシフトしたことなどから同1.0%減となった。衣料品は、前年より気温が高く推移し夏物商材の売上が好調だったことなどから同5.3%増だった。住居関連は、エアコンなどの家電の需要が伸びたことや外国人観光客による消費が堅調なことなどから同3.8%増となった。
- 全店ベースでは0.5%増と17カ月連続で前年を上回った。



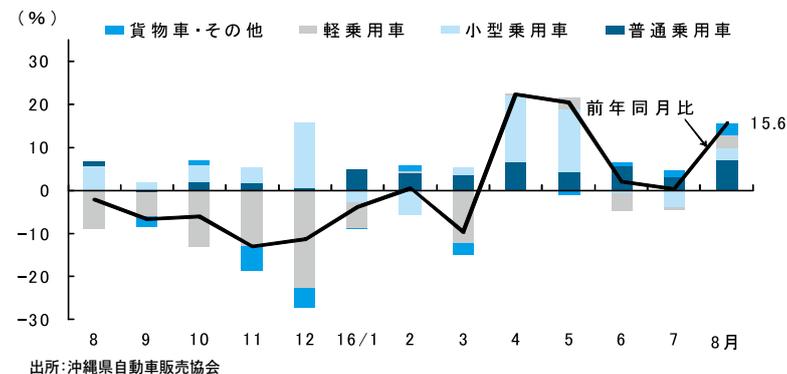
出所:りゅうぎん総合研究所

## ③ 新車販売台数 (前年同月比)

※棒グラフは車種別寄与度

### 5カ月連続で増加

- 新車販売台数は3,296台となり、前年同月比15.6%増と5カ月連続で前年を上回った。普通自動車は、好調なレンタカー需要と自家用車の需要の伸長などから前年を上回った。軽乗用車は、レンタカー需要が伸び、貨物車・その他は軽貨物車の伸長などから前年を上回った。
- 普通自動車(登録車)は1,585台(同24.7%増)で、うち普通乗用車は531台(同59.9%増)、小型乗用車は838台(同10.7%増)であった。軽自動車(届出車)は1,711台(同8.2%増)で、うち軽乗用車は1,415台(同6.7%増)であった。



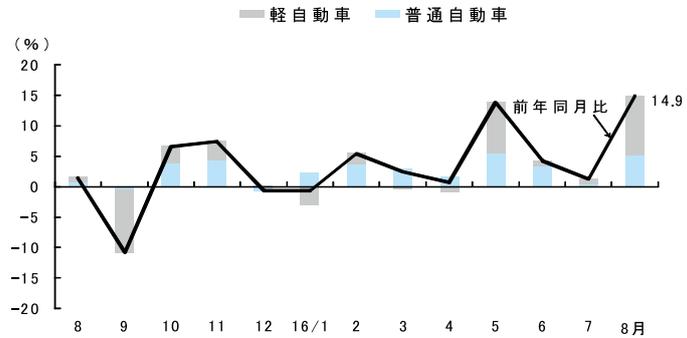
出所:沖縄県自動車販売協会

#### ④ 中古自動車販売台数【登録ベース】

※棒グラフは車種別寄与度

##### 7カ月連続で増加

- ・中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は1万7,885台で前年同月比14.9%増と7カ月連続で前年を上回った。
- ・内訳では、普通自動車は6,908台（同13.1%増）、軽自動車は10,977台（同16.1%増）となった。



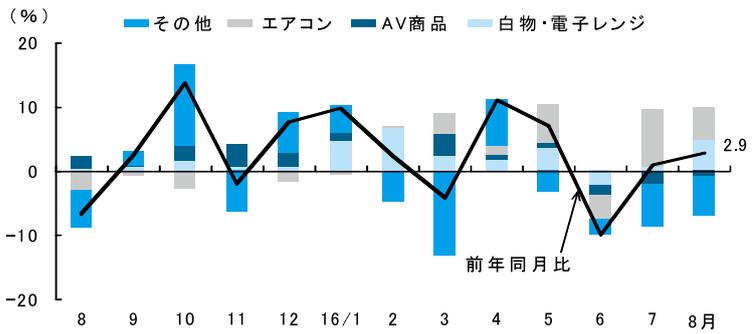
出所：沖縄県中古自動車販売協会 ※登録ベース

#### ⑤ 電気製品卸売販売額（前年同月比）

※棒グラフは品目別寄与度

##### 2カ月連続で増加

- ・電気製品卸売販売額は、前年より台風の影響が少なく気温が高く推移したことで、エアコンの需要が増加したことや、冷蔵庫などの白物家電の販売が好調なことなどから、前年同月比2.9%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・品目別にみると、AV商品ではDVDレコーダーが同13.4%減、テレビが同6.6%減、エアコンが同38.9%増、白物では洗濯機が同23.3%増、冷蔵庫が同30.5%増、太陽光発電システムを含むその他は同10.7%減となった。



出所：りゅうぎん総合研究所

消費  
関連

建設  
関連

観光  
関連

その他

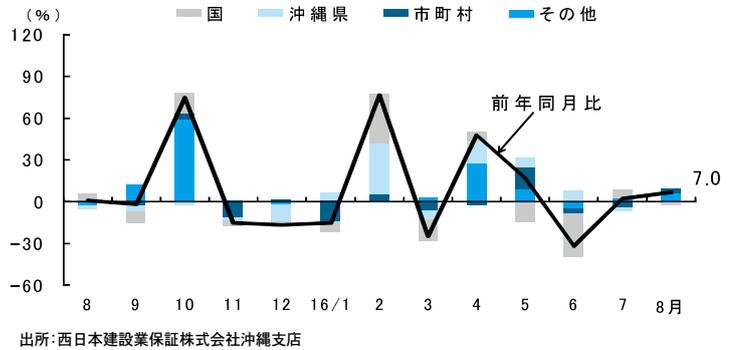
# 建設関連

## ① 公共工事請負金額 (前年同月比)

※棒グラフは発注者別寄与度

### 2カ月連続で増加

- ・公共工事請負金額は、249億9,700万円で前年同月比7.0%増となり、市町村、独立行政法人等・その他が増加したことから、2カ月連続で前年を上回った。
- ・発注者別では、市町村(同9.6%増)、独立行政法人等・その他(同978.0%増)は増加し、国(同3.9%減)、県(同3.2%減)は減少した。
- ・大型工事としては、安富祖ダム本体(その7)工事や那覇空港滑走路増設5工区築造工事などがあった。

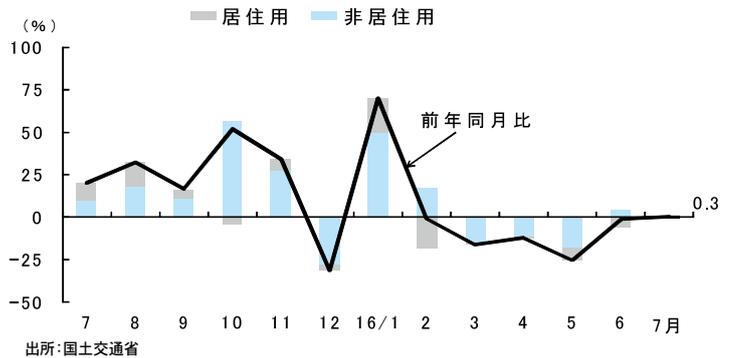


## ② 建築着工床面積 (前年同月比)

※棒グラフは用途別寄与度

### 6カ月ぶりに増加

- ・建築着工床面積(7月)は16万2,915㎡となり、非居住用は減少したが、居住用は増加したことから、前年同月比0.3%増となり、6カ月ぶりに前年を上回った。用途別では、居住用は同0.8%増、非居住用は同0.5%減となった。
- ・建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では居住専用、居住専用準住宅は増加したが、居住産業併用は減少した。非居住用では、他に分類されない建築物などが増加し、公務用などが減少した。

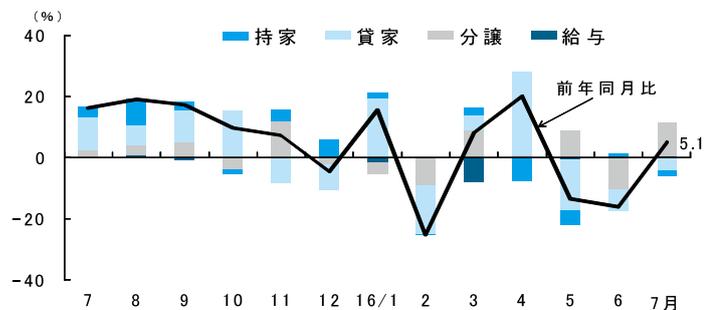


## ③ 新設住宅着工戸数 (前年同月比)

※棒グラフは利用関係別寄与度

### 3カ月ぶりに増加

- ・新設住宅着工戸数(7月)は1,432戸となり、分譲、給与が増加したことから、前年同月比5.1%増と3カ月ぶりに前年を上回った。
- ・利用関係別では、分譲(275戸)が同121.8%増、給与(4戸)が同100.0%増と増加し、持家(240戸)が同9.4%減、貸家(913戸)が同6.0%減と減少した。

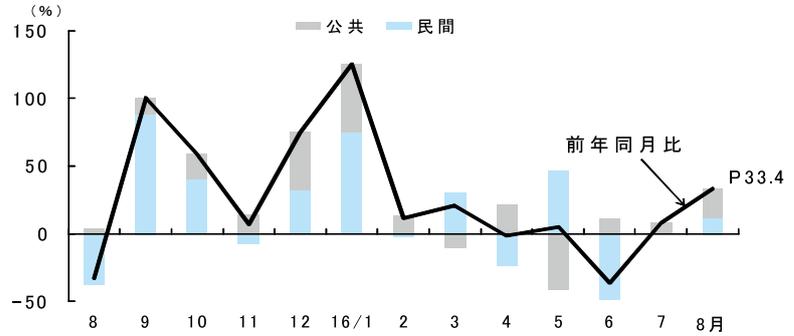


#### ④ 建設受注額 (前年同月比)

※棒グラフは発注者別寄与度

##### 2カ月連続で増加

- ・建設受注額(調査先建設会社:20社、速報値)は、公共工事、民間工事ともに増加したことから、前年同月比33.4%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・発注者別では、公共工事(同45.8%増)は3カ月連続で増加し、民間工事(同22.3%増)は2カ月連続で増加した。

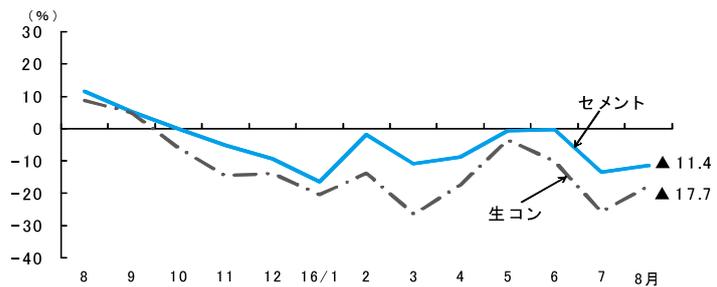


出所:りゅうぎん総合研究所

#### ⑤ セメント・生コン(前年同月比)

##### セメント、生コンともに11カ月連続で減少

- ・セメント出荷量は7万2,940トンとなり、前年同月比11.4%減と11カ月連続で前年を下回った。
- ・生コン出荷量は13万962m<sup>3</sup>で同17.7%減となり、公共工事における空港関連向け出荷や、民間工事における医療関連向け出荷の減少などから11カ月連続で前年を下回った。
- ・生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、公共施設向け出荷などが増加し、空港関連向け出荷などが減少した。民間工事では、分譲マンション向け出荷などが増加し、医療関連向け出荷などが減少した。

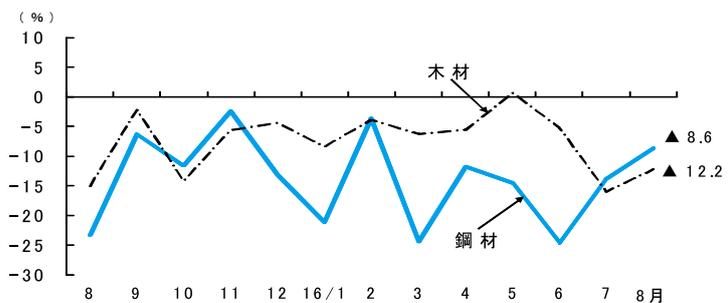


出所:りゅうぎん総合研究所

#### ⑥ 鋼材・木材 (前年同月比)

##### 鋼材は20カ月連続で減少、木材は3カ月連続で減少

- ・鋼材売上高は、単価の低下や工事の進捗が鈍いことなどから、前年同月比8.6%減と20カ月連続で前年を下回った。
- ・木材売上高は、住宅関連工事向け出荷の減少などから同12.2%減と3カ月連続で前年を下回った。



出所:りゅうぎん総合研究所

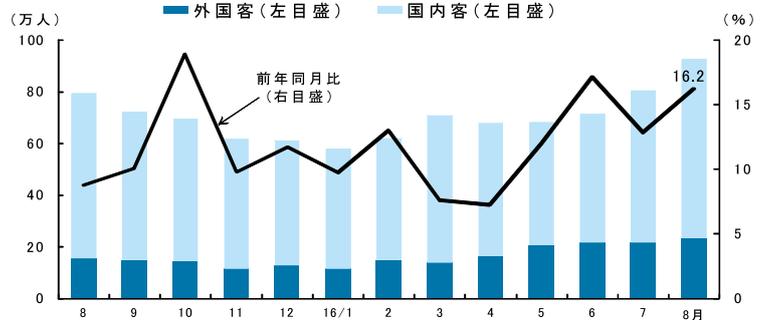


# 観光関連

## ① 入域観光客数(実数、前年同月比)

### 2カ月連続で単月の過去最高を更新、初の90万人超

- ・入域観光客数は、前年同月比16.2%増の92万6,900人と、47カ月連続で前年を上回った。国内客、外国客ともに増加した。国内客は、同8.1%増の69万4,900人となり5カ月連続で前年を上回った。
- ・路線別では、空路は82万2,000人(同9.7%増)と47カ月連続で前年を上回った。海路は10万4,900人(同116.7%増)と15カ月連続で前年を上回った。

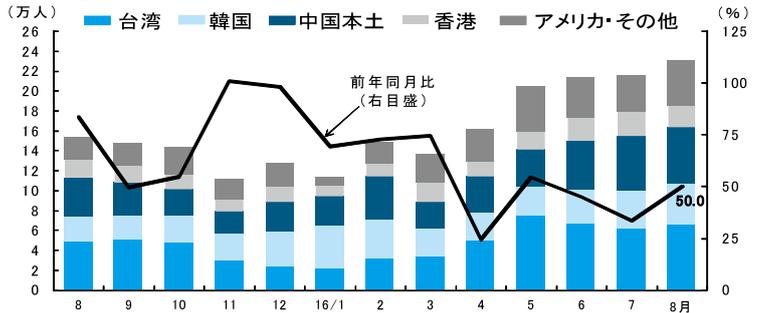


出所:沖縄県観光政策課

## ② 入域観光客数【外国客】(実数、前年同月比)

### 4カ月連続で単月の過去最高記録を更新

- ・入域観光客数(外国客)は、航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数の増加などから前年同月比50.0%増の23万2,000人となり、37カ月連続で前年を上回った。
- ・国籍別では、台湾6万6,500人(同36.0%増)、中国本土5万7,000人(同46.5%増)、韓国4万100人(同57.9%増)、香港2万3,000人(同20.4%増)、アメリカ・その他4万5,400人(同102.7%増)であった。

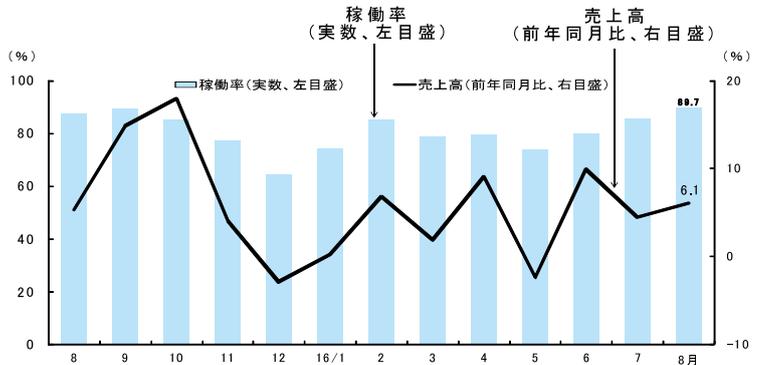


出所:沖縄県観光政策課

## ③ 主要ホテル稼働率・売上高(実数、前年同月比)

### 稼働率は2カ月ぶりに上昇、売上高は3カ月連続で増加

- ・主要ホテル(速報値)は、客室稼働率は89.7%となり、前年同月比2.5%ポイント上昇し2カ月ぶりに前年を上回った。売上高は同6.1%増と3カ月連続で前年を上回った。
- ・那覇市内ホテルは、客室稼働率は88.3%と同1.3%ポイント上昇し2カ月ぶりに前年を上回り、売上高は同4.3%増と3カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテルは、客室稼働率は90.3%と同3.1%ポイント上昇して2カ月ぶりに前年を上回り、売上高は同6.4%増と3カ月連続で前年を上回った。



出所:りゅうぎん総合研究所

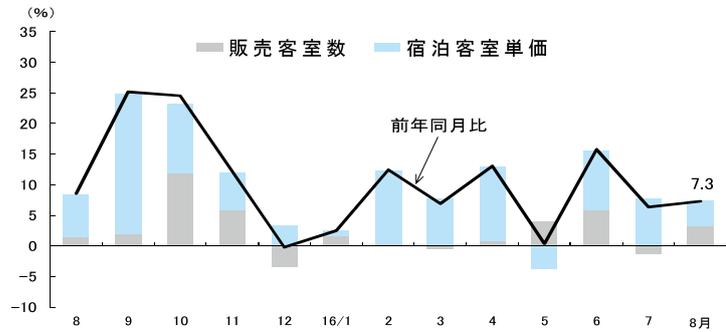
消費関連  
建設関連  
観光関連  
その他

#### ④ 主要ホテル宿泊収入 (前年同月比)

※棒グラフは客室数・単価別寄与度

##### 8カ月連続で増加

- ・主要ホテル売上高(速報値)のうち宿泊収入は、販売客室数(数量要因)、宿泊客室単価(価格要因)ともに上昇し、前年同月比7.3%増と8カ月連続で前年を上回った。
- ・那覇市内ホテルは、販売客室数、宿泊客室単価ともに上昇し、同9.2%増と30カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテルは、販売客室数、宿泊客室単価ともに上昇し、同7.0%増と3カ月連続で前年を上回った。

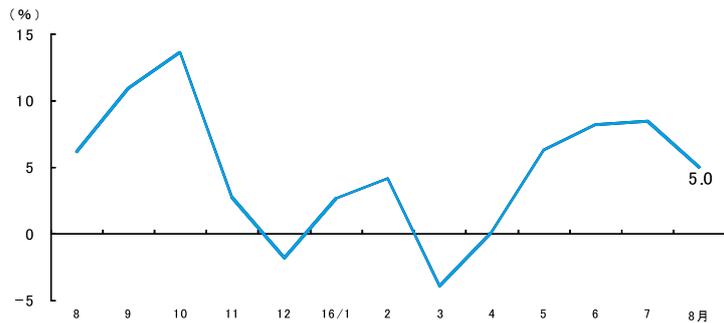


出所:りゅうぎん総合研究所

#### ⑤ 主要観光施設の入場者数(前年同月比)

##### 5カ月連続で増加

- ・主要観光施設の入場者数は、前年同月比5.0%増となり、5カ月連続で前年を上回った。

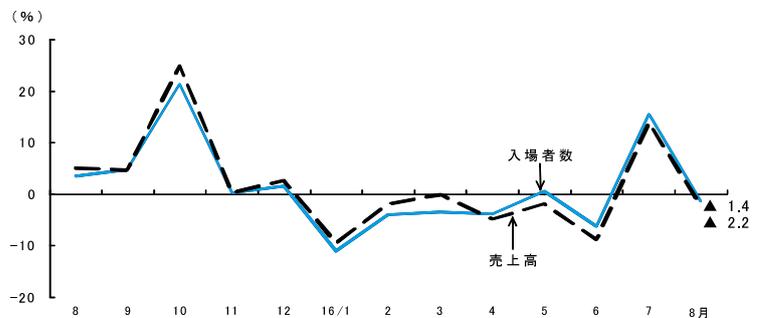


出所:りゅうぎん総合研究所

#### ⑥ 主要ゴルフ場入場者数・売上高(前年同月比)

##### 入場者数、売上高ともに 2カ月ぶりに減少

- ・主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比1.4%減と2カ月ぶりに前年を下回った。県内客は前年を下回り、県外客は前年を上回った。
- ・売上高は同2.2%減と2カ月ぶりに前年を下回った。



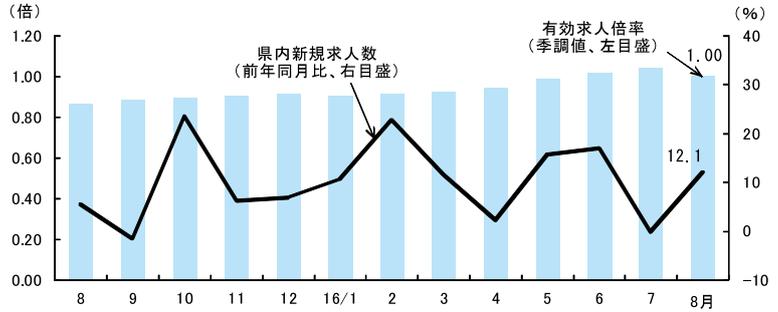
出所:りゅうぎん総合研究所 (注)調査先は8施設(うち県外客については6施設)からなる。

# 雇用関連・その他

## ① 雇用関連（新規求人数と有効求人倍率）

### 新規求人数は増加、有効求人倍率(季調値)は低下

- ・新規求人数は、前年同月比12.1%増となり2カ月ぶりに前年を上回った。産業別にみると、運輸業・郵便業、卸売業・小売業などで増加し、情報通信業、公務・その他などで減少した。有効求人倍率(季調値)は1.00倍と、前月より0.04ポイント低下した。
- ・労働力人口は、69万7,000人で同数となり、就業者数は、67万1,000人で同1.4%増となった。完全失業者数は2万7,000人で同22.9%減となり、完全失業率(季調値)は3.5%と前月より1.0%ポイント改善した。



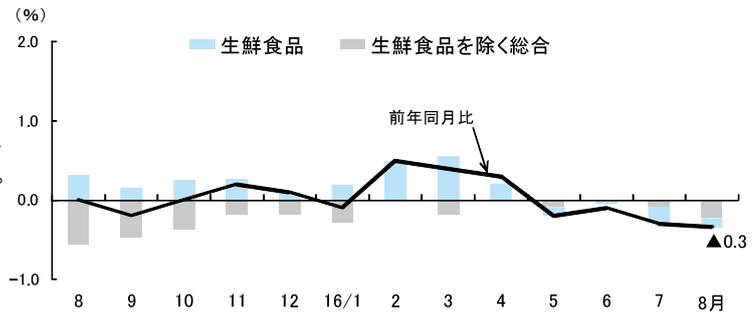
出所：沖縄労働局  
(注)有効求人倍率は、2015年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

## ② 消費者物価指数【総合】(前年同月比)

※棒グラフは品目別寄与度

### 4カ月連続で下落

- ・消費者物価指数は、前年同月比0.3%減と4カ月連続で前年を下回った。生鮮食品を除く総合は同0.2%減と前年を下回った。
- ・品目別の動きをみると、食料などが上昇し、光熱・水道および交通・通信などは下落した。

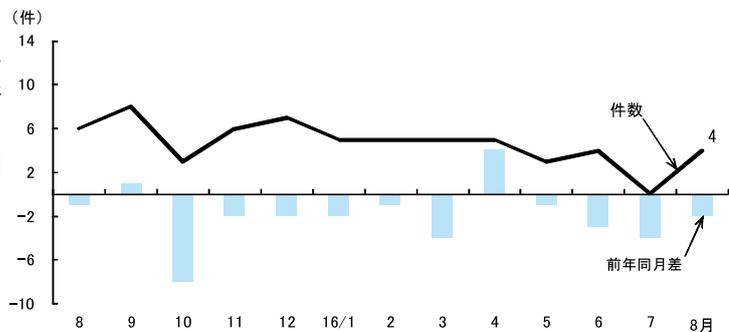


出所：沖縄県(注1)端数処理の関係で寄与度の合計は前年比と一致しないことがある。  
(注2)2016年7月より2015年=100に改定された。

## ③ 企業倒産

### 件数、負債総額ともに減少

- ・倒産件数は、4件で前年同月を2件下回った。業種別では、建設業1件(同2件減)、小売業1件(同数)、サービス業2件(同2件増)であった。
- ・負債総額は、1億4,300万円となり、前年同月比95.1%の減少だった。



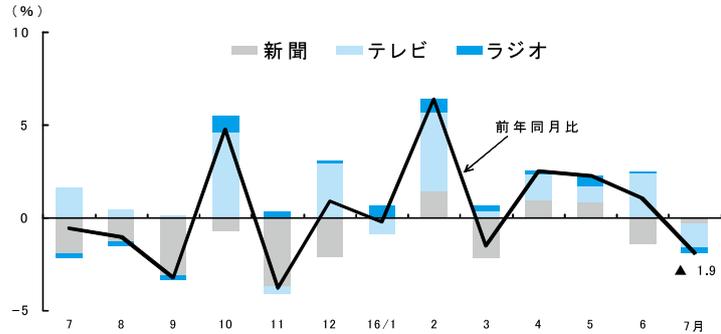
出所：東京商工リサーチ沖縄支店  
(注)負債総額1,000万円以上

#### ④ 広告収入【マスコミ】(前年同月比)

※棒グラフはメディア別寄与度

##### 4カ月ぶりに減少

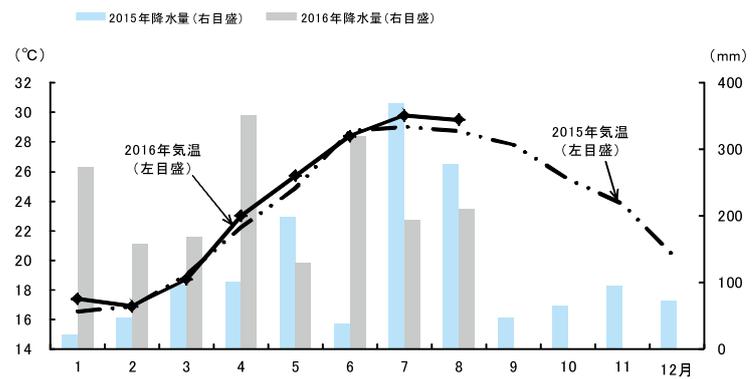
・広告収入(マスコミ:7月)は、前年同月比1.9%減となり、4カ月ぶりに前年を下回った。



出所:りゅうぎん総合研究所

#### 参考 気象:平均気温・降水量【那覇】

- ・平均気温は29.5℃となり、平年(28.7℃)、前年同月(28.7℃)より高かった。降水量は209.0mmと前年同月(278.0mm)より少なかった。
- ・沖縄地方は、高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、台風4、10号や熱帯低気圧、湿った空気や気圧の谷の影響で曇りや雨となる日もあった。平均気温は平年より高く、降水量と日照時間は平年並みだった。



出所:沖縄気象台

消費関連

建設関連

観光関連

その他



### 海洋深層水と久米島

クルマエビ養殖で活況

琉球銀行 久米島支店長  
真米田 聡

久米島は海洋深層水を利用した事業が盛んです。海洋深層水は水深 612 メートルから吸い上げた海水で、水温が低く安定しており、雑菌が少なくミネラルなどの栄養分を多く含むのが特徴といわれています。

海洋深層水を利用した事業は、農業部門や水産部門をはじめ広範囲にわたりますが、よく知られているのがクルマエビの養殖でしょう。生産量は沖縄県が全国一で、久米島がその柱になっています。

久米島は、県内のクルマエビ養殖の発祥の地です。1974 年に県内初のクルマエビ養殖場が造られ、ここでの成功を受けて県内各地に広がったそうです。養殖の方法は母エビを県外から移入し、それから生まれた小エビを育てるやり方です。しかし、母エビに病気が多くなり、供給量も少なくなっていました。そこで自ら母エビを生産しようと、県海洋深層水研究所が生産技術の開発に取り組み、その中で海洋深層水の利用が始まったそうです。

健康な母エビを育てるには、夏でも海水を 22 度から 25 度に保つ必要があり、低温な海洋深層水が冷却装置の役割を果たしました。県車海老漁業協同組合の海洋深層水種苗供給センターでは、送られてくる海洋深層水で水温を適正に保ちながら母エビを育て、大量の種苗（小エビ）を生産しています。その種苗は、県内の各養殖場へ送られます。

久米島のクルマエビは全国的に人気があり、生きたまま配送するサービスも好評で、今後も伸びが期待されます。

クルマエビの生産量（2014 年）

上位 3 県	生産量	構成比
沖縄県	570 トン	36.0%
鹿児島県	406 トン	25.7%
熊本県	302 トン	19.1%
全国	1,582 トン	100.0%

出所：農林水産省統計部「漁業・養殖業生産統計年報」



### 保険業法改正

より自分に合う選択へ

琉球銀行リスク統括部コンプライアンス室 弁護士  
米須 陽宏

ことし 5 月に改正保険業法が施行されました。改正法のポイントは、募集人（保険を販売する金融機関など）に対し、お客さまの意向を把握すること、適切な情報提供を行うことを義務付けている点です。

具体的に、生命保険募集の一例をみてみましょう。取扱店にお客さまが来店されると、次のような保険募集が行われます。

まず、募集人はアンケートなどを使って、お客さまがどのような保険を必要としているのかを把握します。例えば、「老後の生活資金を準備されたいのか」や「万一のときの家族の生活費を確保されたいのか」などです。

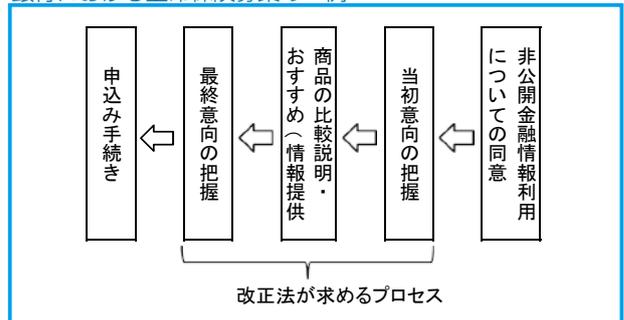
次に、募集人はお客さまの意向に沿った商品（複数ある場合はそれぞれの商品）について、保障の内容や保険料などを説明します。このとき、募集人が特定の商品をおすすめする場合は、その理由も説明します。

お客さまの申し込む商品が決まると、募集人は再度お客さまの意向を把握して、申し込む商品がお客さまの意向に沿ったものであるかを確かめます。その後、商品の契約概要や注意喚起情報などの説明を行い、契約の申し込み手続きへと進みます。

この例からも分かるように、改正法施行後の保険募集では、お客さまが意向に沿った商品を選択できるように、募集人に対して丁寧な意向把握と情報提供を義務付けています。

お客さまにとって、より自分のニーズに合った保険商品の選択につながる今回の法改正は、ライフプランの充実に寄与するでしょう。

銀行における生命保険募集の一例





## 女性活躍推進法

企業成長の後押し期待

琉球銀行人事部 調査役  
 知花 美奈子

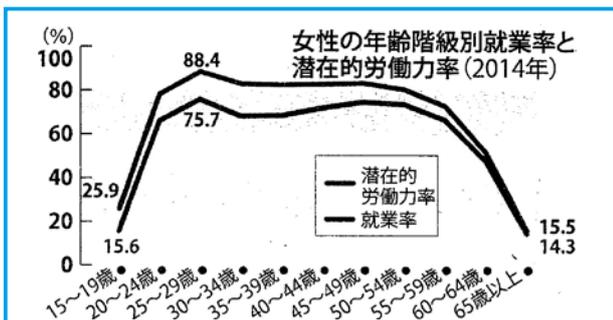
日本は少子高齢化が進むため、今後、労働力不足が加速すると予想されています。そうした中で、人材活用の一つとして女性の活躍が期待されています。

しかし現状は、長時間労働を前提とした労働慣行もあり、女性の力が十分に発揮できる環境には至っていません。出産後、仕事と家庭の両立が難しいために退職してしまうケース、再就職した場合でも非正規雇用での採用になってしまうケースなど、いまでも多くみられます。

グラフは女性の年齢階級別就業率です。20代後半～40代前半の就業率が低い「M字」型になっており、この傾向がずっと続いています。また日本の女性は、勤続年数が短く経験を積む機会が少ないこともあり、管理職に就く割合が諸外国に比べて低いといわれています。

こうした背景を踏まえ、ことし4月、「女性活躍推進法」が施行されました。この法律は労働者301人以上の企業に対して、“女性活躍”の状況把握や課題分析を行いながら環境整備に向けた行動計画の策定を義務付け、都道府県労働局へ届けるほか公表を義務付けています（労働者300人以下の企業は努力義務になっています）。

帝国データバンク沖縄支店の「県内企業の女性登用に対する意識調査」によると、策定義務のあるすべての企業が行動計画を策定済みで、努力義務の企業も40.4%が策定したとのこと。計画の推進は、人材の定着と企業の成長につながるものと期待されています。



出所：厚生労働省都道府県労働局雇用環境・均等部（室）



## 内部通報制度

通報者は不利益受けず

琉球銀行監査部 上席調査役  
 伊佐 昭彦

一般的に職場には、法令違反や規律違反などの発生するリスクが潜在的に多く存在しています。これを防ぐ手段の一つに「内部通報制度」があります。

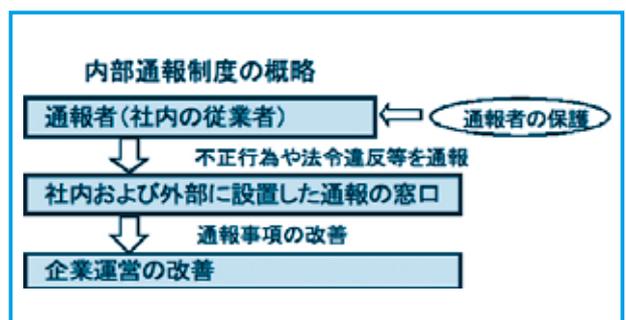
内部通報制度とは、企業内で不正行為や法令違反、パワーハラスメントの発生、またはその恐れがある場合、それを察した従業員が社内にあらかじめ設置した窓口や外部に設置した窓口（法律事務所等）に通報することができる制度をいいます。その際、「誰が通報したか」は特定されない仕組みになっています。

通報された内容に対して企業の担当者は、事実関係の確認を行い法令違反や不正行為が明らかになると、是正策や再発防止策などの改善策を講じます。通報者は匿名性が保たれるほか、解雇などの不利益を受けることがないように公益通報者保護法により保護されている一方で、他人を誹謗中傷するような通報を行ってはならないとされています。

内部通報制度は、改善策を講じることで重大な事態を未然に防ぐという効果もあります。こうした自浄作用は、企業運営の健全性に寄与します。

現在、多くの大企業では内部通報制度を導入しています。しかし中小企業では運用のための人材確保が難しいことや、「社員全員が顔なじみで企業風土に合わない」といった理由で導入していない企業も多いようです。

今後は、組織体制の見直しを図りながら導入を検討する企業が増えるとみられ、徐々に浸透していくと見込まれます。



# 貴社の回収業務の効率化と 顧客満足度の向上をご支援いたします！

## 回収率 アップ

**手軽で便利なコンビニからのお支払い**  
貴社のお客さまは、土日祝日に関係なく、24時間365日気軽にお支払いいただけますので貴社の料金回収効率が高まります。

## コスト 削減

**集金事務に要したコストを大幅に削減**  
貴社は、お客様に払込取扱票を送付するだけで、お客様から回収した資金を貴社ご指定の預金口座に入金しますので、集金事務における人件費等が大幅に削減できます。

## すばや い情報提供

**回収情報をすばやくご提供**  
回収情報を、すばやくご提供しますので消込処理・督促処理等が迅速に実行できます。また、回収資金入金日をお知らせしますので資金計画も立てやすくなります。

## 事務処理 が楽々

**電子データにより消込処理が軽減**  
回収情報は貴社が設定された顧客番号等を含む電子データでご提供しますので、消込処理の自動化が可能となり、事務負担が大幅に軽減できます。

## コンビニ収納サービスで貴社に適した回収業務をサポートします

### ●コンビニ収納サービスが貴社のお客さまにもたらすメリット

- ・ライフスタイルに合わせて、いつでもどこでもコンビニでお支払いが可能になります。
- ・コンビニでのお支払いが可能になることで、お支払い方法のバリエーションが増えます。
- ・インターネット取引で、クレジットカードをお持ちでない方、カード決済を希望されない方もお支払いできます。

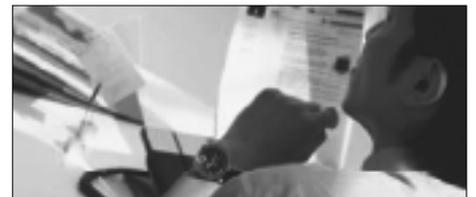
### ●当行のコンビニ収納サービスの特徴



**契約は当行とだけ!**  
各コンビニと個別に契約いただく必要はございません。



**初期投資も最小限で!**  
情報管理に、専用パソコンソフトや専用Web画面を提供します。



**豊富な実績!**  
様々なノウハウがあるので、円滑にサービスを導入いただけます。

## コンビニ収納サービス **スタンダード**

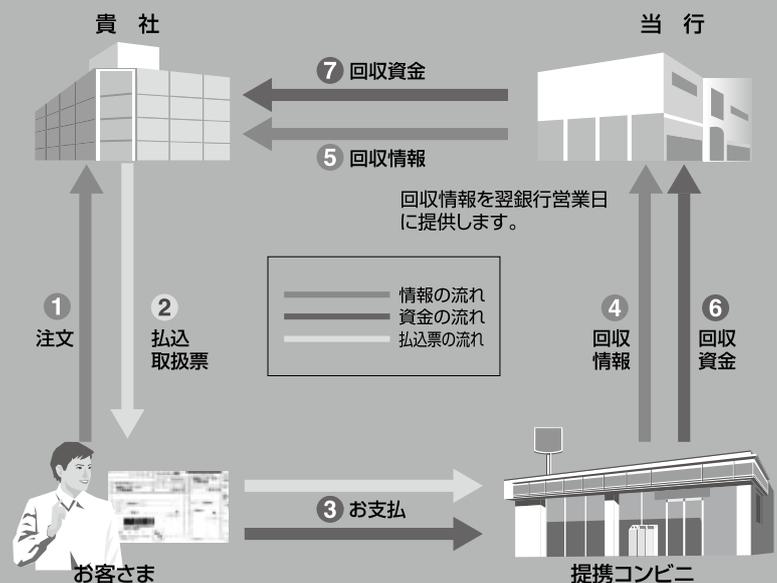
いつでも(24時間365日)どこからでも(日本全国)回収いたします。

販売代金や会費などの各種料金を、貴社に代わって当行が提携する各コンビニ店舗でお客様から回収し、その回収情報(バーコード情報)を貴社に提供します。回収した資金は貴社の預金口座に入金するサービスです。

全国5万6千店舗のコンビニが貴社に代わって回収いたします。

### ご利用例

- 塾・予備校・セミナー  
授業料、入学金、検定試験受験料、パソコン講習代金、月謝、セミナー代金の回収にご利用いただけます。
- 不動産管理会社  
家賃、駐車代金の滞った借主に対する督促を早めるためにご利用いただけます。
- その他  
小売業(食品、物販)、通信販売会社、ガス・石油会社、クレジットカード会社、新聞販売会社、出版会社 等



## 本件に関するお問い合わせ先

株式会社琉球銀行  
営業推進部 公務グループ 塩崎

TEL

**098-860-3470**

受付時間 【平日】AM 9:00 ~ PM 5:00

## 今回のテーマ

# 昨今の気をつけるべき減価償却税務

### 1. 減価償却資産の償却方法についての改正

2016年4月1日以降に取得する建物附属設備および構築物の減価償却方法について、定率法が廃止され、定額法に一本化されました。

取得日	～1998.3.31	1998.4.1～ 2007.3.31	2007.4.1～ 2012.3.31	2012.4.1～ 2016.3.31	2016.4.1～
建物	旧定額法・ 旧定率法	旧定額法	定額法		
建物附属設備		旧定額法・ 旧定率法	定額法・ 250%定率法	定額法・ 200%定率法	定額法
構築物					定額法・ 200%定率法
機械装置					定額法・ 200%定率法
船舶・航空機					定額法・ 200%定率法
車両運搬具					定額法・ 200%定率法
工具器具備品		定額法・ 200%定率法			
鉱業用減価償却資産 (建物、建物附属設備、 構築物に限る)	旧定額法・ 旧定率法・ 旧生産高比例法	定額法・ 250%定率法・ 生産高比例法	定額法・ 200%定率法・ 生産高比例法	定額法・ 生産高比例法	

### 2. 租税特別措置法の見直し

減価償却に関する租税特別措置法の主な見直しは、つぎのとおりです。

少額減価償却資産の損金算入の特例の延長	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業者等が取得価額が30万円未満の減価償却資産を取得した場合、当該減価償却資産の合計額300万円を限度として全額損金算入することができる特例。</li> <li>適用期限を2018年3月31日まで2年間延長。</li> <li>対象となる中小企業者等の範囲から、常時使用する従業員の数が1,000人を超える法人が除外。</li> </ul>								
生産性向上設備等を取得した場合の特別償却又は法人税額の特別控除の廃止	<p>以下の適用期限をもって縮減・廃止されます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2016.4.1～2017.3.31</th> <th>2017.4.1～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機械装置など</td> <td>特別償却50% 又は 税額控除4%</td> <td rowspan="2">廃止</td> </tr> <tr> <td>建物、構築物</td> <td>特別償却25% 又は 税額控除2%</td> </tr> </tbody> </table>		2016.4.1～2017.3.31	2017.4.1～	機械装置など	特別償却50% 又は 税額控除4%	廃止	建物、構築物	特別償却25% 又は 税額控除2%
	2016.4.1～2017.3.31	2017.4.1～							
機械装置など	特別償却50% 又は 税額控除4%	廃止							
建物、構築物	特別償却25% 又は 税額控除2%								

### お見逃しなく！

- 2016年4月1日前に取得した建物附属設備、構築物で定率法を適用していたものを、定額法に変更する場合は、変更する事業年度開始の前日までに「減価償却の変更承認申請書」を提出する必要があります。その後、再び「定率法」にもどすには、通常、相当期間（3年）を経過した後に、再度「変更承認申請書」を提出することになります。
- 会計上の減価償却方法を変更する場合や、2016年4月1日以降取得の建物附属設備、構築物については、固定資産管理システム上の設定に注意する必要があります。

# Web口座振受付サービスのご紹介

預金口座振替の申込みがパソコン、携帯電話からインターネット経由で登録できる簡単で便利なサービスです。

## ご利用メリット

### 口座振替受付のペーパーレス化

口座振替申込書の金融機関への発送、記入不備などによる手戻りが無くなります！

### 口座振替促進による業務効率化

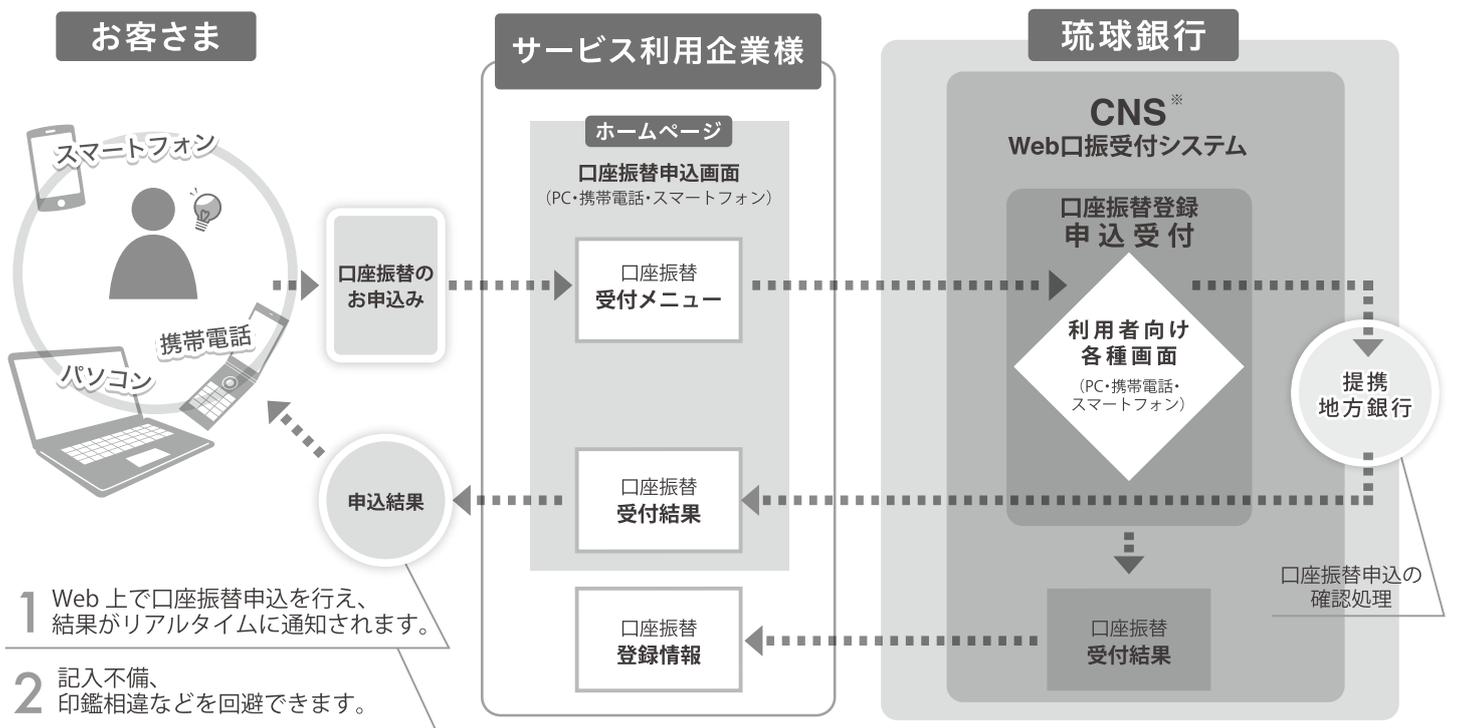
口座振替による収納率の向上につながり、業務効率化につながります！

### 顧客（住民）サービスの向上

利用者は簡単・スピーディに手続きでき、顧客満足度の向上につながります！

### 個人情報のセキュリティ強化

口座振替申込書のペーパーレス化により、紛失等の個人情報漏えいリスクが無くなります。



※地銀ネットワークサービス(株)(略称「CNS」)は全国地方銀行協会加盟の地方銀行64行(当行含む)の共同事業会社です。

## お問い合わせ窓口

株式会社琉球銀行  
営業推進部 公務グループ 塩崎

TEL

098-860-3470

受付時間 【平日】AM 9:00 ~ PM 5:00



## 沖 縄

**9.1** 沖縄総合事務局運輸部は、離島地区のタクシー運賃の改定を公示した。中型車と小型車の区別を普通車に統一し、初乗運賃(1.167km)は460円、加算運賃は341m毎に60円となる。初乗運賃は中型車で変更なし、小型車で30円増、加算運賃は中型車で10円減、小型車で変更なしとなり、10月1日から適用される。

**9.2** 厚生労働省によると、16年4月1日時点の全国の待機児童数は23,553人だった。市区町村別では、東京都世田谷区(1,198人)、岡山県岡山市(729人)に続き、那覇市は559人と3番目に多かった。県内では、那覇市に次いで、沖縄市(360人)、浦添市(231人)の順に多かった。

**9.7** 帝国データバンク沖縄支店が発表した「女性登用に対する企業の意識調査」によると、県内において女性管理職(課長相当職以上)がいない企業は55.6%(全国50.0%)と半数にのぼる一方、女性管理職の割合は平均5.1%と15年より1.2ポイント上昇した。

**9.20** フォーモストブルーシール株式会社は、浦添市牧港の本店隣に「ブルーシールアイスパーク」をオープンした。約70年の歴史展示の他、アイスクリーム製造現場の見学や県内初のアイスバーデコレーションの体験などができる。

**9.21** 沖縄県文化観光スポーツ部によると、16年1～6月の沖縄リゾートウェディングの実施組数は6,553組(前年同期比6.4%増)で、上半期の過去最高を記録した。内訳は、国内組数が5,633組(同2.0%増)、海外組数が920組(同44.9%増)だった。

**9.23** 沖縄県の発表によると、16年7月1日時点における沖縄県の地価の全用途平均変動率(林地除く)は2.2%(前年1.0%)だった。用途別では、住宅地が1.9%(同0.7%)、商業地が3.2%(同1.6%)、工業地が4.2%(同2.9%)となった。

## 全国・海外

**9.6** 財務省が発表した17年度一般会計概算要求・要望額は、前年度当初予算から4兆7,488億円増の101兆4,707億円と3年連続で100兆円を超えた。厚生労働省は、高齢化による社会保障費の増加などから、同8,108億円増の31兆1,217億円だった。

**9.12** 内閣府の「機械受注統計調査報告」によると、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の16年7月の受注額は、前月比4.9%増の8,919億円だった。2カ月連続のプラスで、基調判断は、前月の「足踏みがみられる」から「持ち直しの動きがみられる」に上方修正された。

**9.16** 三菱商事株式会社は、取締役会で株式会社ローソンへの公開買付けの実施を決議した。現在同社のローソン株式所有割合は33.40%、買付け成立後は50.00%となり、買付代金は1,440億円を超える見込み。17年1月頃の買付け開始を目指す。

**9.21** 日本銀行は、金融政策決定会合で「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を決定した。主な内容は、長短金利操作を行う「イールドカーブ・コントロール」と、消費者物価上昇率が安定的に2%の物価安定目標を超えるまで、マネタリーベースの拡大を継続する「オーバーシュート型コミットメント」の2つである。

**9.21** 米国の連邦準備制度理事会(FRB)は、連邦公開市場委員会(FOMC)で、主要政策金利を年0.25～0.50%に据え置き、追加の利上げを見送ることを決定した。15年12月以来6回連続の見送りだが、委員会後の声明では「利上げの根拠は強まっている」と明記された。

**9.28** 国税庁の15年分「民間給与実態統計調査」によると、民間事業所に勤める給与所得者の年間平均給与は420万円(前年比1.3%増)となり、3年連続で増加した。男女別では、男性が521万円(同1.2%増)、女性が276万円(同1.4%増)となった。

# 沖縄県内の主要経済指標

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	電気製品 卸売額	新車販売 台数	中古自動車 販売台数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2013	2.5	1.0	3.4	18.1	7.1	8.9	266,778	12.2	2,137	20.8
2014	6.9	2.5	3.3	▲ 6.2	7.8	4.8	294,689	10.5	2,098	▲ 1.8
2015	14.5	3.1	5.6	▲ 6.9	7.8	2.3	321,300	9.0	2,037	▲ 2.9
2015 7	14.2	1.1	4.5	▲ 4.1	15.5	5.3	33,472	▲ 28.3	162	20.2
8	32.7	5.5	8.6	▲ 6.6	▲ 2.1	1.5	23,352	0.8	223	32.4
9	17.3	3.6	6.8	2.4	▲ 6.6	▲ 10.8	30,835	▲ 2.1	159	16.5
10	12.3	3.2	6.4	13.8	▲ 6.1	6.6	48,301	74.7	192	51.9
11	3.8	1.5	4.7	▲ 2.0	▲ 13.1	7.5	14,816	▲ 15.4	185	34.1
12	4.2	1.6	4.1	7.6	▲ 11.4	▲ 0.7	19,114	▲ 16.8	135	▲ 31.1
2016 1	4.0	5.8	8.5	9.8	▲ 3.8	▲ 0.7	12,202	▲ 15.0	215	69.9
2	10.5	8.4	11.1	2.3	0.5	5.5	44,788	76.4	154	▲ 0.7
3	0.7	1.0	3.3	▲ 4.1	▲ 9.6	2.5	39,972	▲ 24.7	120	▲ 16.1
4	4.9	4.7	6.2	11.1	22.3	0.6	17,690	47.5	182	▲ 12.2
5	1.8	5.4	6.1	7.0	20.5	13.8	14,261	16.8	119	▲ 25.3
6	4.1	3.3	4.1	▲ 9.9	2.0	4.3	23,421	▲ 31.8	188	▲ 1.2
7	13.9	4.5	4.7	1.0	0.4	1.2	34,156	2.0	163	0.3
8	▲ 0.9	0.1	0.5	2.9	15.6	14.9	24,997	7.0	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2013	16,618	30.7	11.3	7.3	13.1	15.2	10.3	9.2	3.5	0.4
2014	15,426	▲ 7.2	10.7	18.3	4.6	9.4	9.1	6.7	0.7	4.0
2015	16,136	4.6	22.7	3.4	▲ 1.2	▲ 11.0	▲ 5.0	6.2	4.1	▲ 1.2
2015 7	1,362	16.2	28.9	20.6	25.5	▲ 12.0	▲ 6.4	7.7	▲ 5.7	▲ 0.6
8	1,764	19.0	▲ 32.9	11.5	8.7	▲ 21.0	▲ 15.0	6.1	3.5	▲ 1.0
9	1,527	17.4	100.2	5.3	5.0	▲ 6.3	▲ 2.2	10.9	4.8	▲ 3.3
10	1,118	9.8	58.9	▲ 0.2	▲ 5.9	▲ 11.5	▲ 14.2	13.6	21.3	4.8
11	1,306	7.4	7.0	▲ 5.3	▲ 14.5	▲ 2.4	▲ 5.6	2.7	0.3	▲ 3.8
12	1,306	▲ 4.5	74.8	▲ 9.4	▲ 13.9	▲ 13.2	▲ 4.4	▲ 1.8	1.6	0.9
2016 1	1,366	15.7	125.1	▲ 16.4	▲ 20.4	▲ 21.1	▲ 8.4	2.6	▲ 11.1	▲ 0.2
2	1,000	▲ 25.3	11.7	▲ 1.8	▲ 13.8	▲ 3.7	▲ 3.9	4.1	▲ 3.9	6.4
3	1,062	8.4	20.8	▲ 10.8	▲ 26.4	▲ 24.4	▲ 6.2	▲ 3.9	▲ 3.5	▲ 1.5
4	1,409	20.2	▲ 1.5	▲ 8.8	▲ 17.3	▲ 11.8	▲ 5.5	0.1	▲ 3.8	2.5
5	1,085	▲ 13.5	5.2	▲ 0.7	▲ 3.6	▲ 14.5	0.6	6.3	0.5	2.3
6	1,535	▲ 16.0	▲ 36.4	▲ 0.3	▲ 10.1	▲ 24.6	▲ 5.2	8.2	▲ 6.3	1.0
7	1,432	5.1	8.4	▲ 13.4	▲ 25.6	▲ 13.7	▲ 15.9	8.5	15.5	▲ 1.9
8	-	-	P 33.4	▲ 11.4	▲ 17.7	▲ 8.6	▲ 12.2	5.0	▲ 1.4	-
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		鉱工業生産指数(季調値)	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2010年=100	前年比
2013	6,413.7	9.9	550.8	46.2	75.3	73.4	2.3	4.6	102.5	6.3
2014	7,058.3	10.1	893.5	62.2	79.0	77.8	5.1	5.0	104.6	2.0
2015	7,763.0	10.0	1,501.2	68.0	81.8	78.9	4.5	7.2	100.4	▲ 4.0
2015 7	714.0	9.2	163.0	76.6	86.0	87.4	7.1	3.2	104.9	1.8
8	797.5	8.8	154.7	83.7	87.1	87.2	10.0	4.3	97.1	▲ 5.1
9	724.7	10.0	149.6	49.7	89.3	89.1	16.3	14.4	98.1	▲ 11.3
10	696.8	18.9	145.1	54.7	82.9	86.0	14.9	19.2	95.6	▲ 12.8
11	619.6	9.8	113.4	101.1	83.1	74.1	▲ 1.2	7.2	101.8	▲ 6.3
12	613.6	11.7	128.3	98.3	71.7	60.6	▲ 4.3	▲ 2.1	102.6	▲ 9.2
2016 1	581.6	9.7	114.9	69.2	79.1	71.4	0.6	▲ 0.1	88.6	▲ 13.9
2	622.5	13.0	149.9	72.9	89.4	82.3	9.3	5.5	88.7	▲ 16.2
3	709.2	7.6	137.9	74.6	81.2	77.0	0.6	2.6	106.5	1.0
4	681.5	7.3	162.2	24.2	80.2	78.8	12.3	7.7	98.1	▲ 6.9
5	684.6	12.0	206.5	54.5	74.2	73.5	▲ 3.6	▲ 1.9	84.5	▲ 9.0
6	714.4	17.1	215.9	44.7	79.2	80.2	8.4	10.5	93.1	▲ 7.0
7	805.8	12.9	217.3	33.3	84.6	85.9	9.1	3.3	96.7	▲ 9.4
8	926.9	16.2	232.0	50.0	P 88.3	90.3	P 4.3	6.4	-	-
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2016年7月より調査先が26ホテルから25ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。 2013年11月より2010年=100に改定された。

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人人数(県内)	通関輸出	通関輸入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	百万円	百万円
2013	79	38,418	257.5	0.3	5.8	2.4	0.53	17.0	83,423	309,989
2014	78	10,112	▲ 73.7	2.5	5.4	0.5	0.69	14.7	80,589	380,584
2015	68	10,387	2.7	0.6	5.2	2.9	0.84	12.1	42,785	267,346
2015 7	4	1,685	366.8	0.4	5.3	2.9	0.85	14.6	1,574	34,419
8	6	2,936	321.2	0.0	4.6	4.3	0.86	5.5	1,333	22,386
9	8	649	▲ 19.7	▲ 0.2	5.0	5.4	0.88	▲ 1.6	1,335	14,199
10	3	333	▲ 57.0	0.0	5.3	3.1	0.89	23.7	1,553	22,800
11	6	665	36.6	0.2	4.7	2.7	0.90	6.3	9,181	29,089
12	7	919	14.0	0.1	5.4	1.8	0.91	7.0	1,670	13,831
2016 1	5	375	0.0	▲ 0.1	4.8	3.6	0.90	10.6	1,079	27,789
2	5	282	▲ 80.6	0.5	4.3	5.6	0.91	22.8	1,189	16,699
3	5	2,050	354.5	0.4	4.5	3.6	0.92	11.6	4,536	22,168
4	5	596	861.3	0.3	5.3	0.0	0.94	2.3	1,817	9,279
5	3	122	▲ 61.0	▲ 0.2	5.1	1.2	0.98	15.7	3,740	12,197
6	4	110	▲ 79.9	▲ 0.1	5.0	0.7	1.01	16.9	3,841	20,926
7	0	0	▲ 100.0	▲ 0.3	4.5	0.5	1.04	▲ 0.1	996	11,607
8	4	143	▲ 95.1	▲ 0.3	3.5	1.4	1.00	12.1	1,166	19,293
出所	東京商工リサーチ沖縄支店	県企画部統計課			沖縄労働局			沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2016年7月より2015年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2015年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

# 沖縄県内の金融統計

年度	銀行券発行額	銀行券還収額	銀行券増減 (▲還収超)	貸出金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2013FY	3,137	4,260	▲ 1,120	2.065	267	▲ 2.3	4,420	2.2	505	0.114
2014FY	3,140	4,405	▲ 1,320	1.955	253	▲ 5.4	4,162	▲ 5.8	349	0.084
2015FY	3,247	4,470	▲ 1,225	1.822	245	▲ 3.1	4,129	▲ 0.8	331	0.080
2015 7	232	383	▲ 150	1.887	21	▲ 6.5	372	▲ 0.3	27	0.073
8	256	375	▲ 118	1.875	20	7.3	332	10.3	34	0.102
9	265	444	▲ 179	1.866	20	▲ 13.6	361	▲ 9.6	40	0.112
10	235	359	▲ 124	1.858	18	▲ 15.5	277	▲ 19.1	49	0.176
11	230	304	▲ 73	1.845	21	22.0	373	47.9	31	0.084
12	593	165	427	1.822	20	▲ 10.0	313	▲ 8.8	18	0.059
2016 1	110	587	▲ 477	1.807	18	▲ 3.0	286	▲ 0.7	17	0.061
2	253	352	▲ 99	1.794	22	13.3	348	8.0	29	0.085
3	306	415	▲ 109	1.758	21	▲ 10.4	371	▲ 9.6	79	0.213
4	293	253	39	1.749	17	▲ 17.6	297	▲ 21.2	10	0.034
5	161	479	▲ 317	1.723	22	15.7	388	27.2	27	0.069
6	201	329	▲ 127	1.696	21	▲ 13.9	346	▲ 16.8	5	0.015
7	222	356	▲ 133	1.683	18	▲ 17.0	270	▲ 27.5	13	0.049
8	-	-	-	-	22	9.9	397	19.6	1	0.001
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額) ÷ 手形交換高(金額) × 100

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む未残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む未残)		県内金融機関 の預貯金残高 (郵便貯金は含まない)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (未残)		沖縄県信用保証協会 債務残高 (未残)	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2013FY	42,266	1.4	29,713	4.3	41,516	3.3	8,176	▲ 8.5	1,554	▲ 7.9
2014FY	44,575	5.5	31,332	5.5	42,849	3.2	8,152	▲ 0.3	1,391	▲ 8.8
2015FY	45,359	1.8	33,039	5.4	44,933	4.9	8,057	▲ 1.2	1,278	▲ 8.1
2015 7	45,079	4.4	30,969	5.0	45,653	5.0	7,931	▲ 0.1	1,297	▲ 9.4
8	45,012	3.9	31,121	5.1	45,584	5.4	7,902	▲ 0.3	1,290	▲ 9.7
9	45,243	3.6	31,637	4.9	45,923	5.2	7,801	▲ 3.2	1,310	▲ 8.6
10	45,108	5.2	31,373	4.7	45,655	5.7	7,834	▲ 2.4	1,308	▲ 8.6
11	45,602	4.4	31,688	5.4	45,856	5.5	7,837	▲ 1.9	1,302	▲ 7.2
12	45,717	4.7	32,188	5.9	45,874	5.2	7,827	▲ 1.4	1,292	▲ 8.5
2016 1	44,840	3.5	32,144	5.7	45,598	4.6	7,782	▲ 1.7	1,275	▲ 9.5
2	45,128	3.5	32,402	5.9	45,393	5.1	7,738	▲ 1.9	1,269	▲ 8.9
3	45,359	1.8	33,039	5.4	45,407	4.3	8,057	▲ 1.2	1,278	▲ 8.1
4	45,990	2.5	32,323	5.7	46,378	4.2	7,977	▲ 1.6	1,236	▲ 7.8
5	46,155	2.5	32,543	5.9	46,639	4.6	7,914	▲ 1.9	1,213	▲ 7.7
6	46,170	2.0	32,754	6.3	47,362	4.7	7,869	▲ 1.8	1,211	▲ 7.0
7	45,893	1.8	32,834	6.0	47,434	3.9	7,841	▲ 1.1	1,215	▲ 6.3
8	45,580	1.3	33,031	6.1	-	-	-	-	1,219	▲ 5.5
出所	沖縄県銀行協会		沖縄県銀行協会		日本銀行那覇支店		沖縄振興開発金融公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、14年6月分より県内に所在する国内銀行および信用金庫の集計値へ変更になったため遡及改訂した。

なお、県内金融機関の預金残高は実質預金(総預金から小切手・手形を差し引いたもの)の集計値で、年度の残高は年度中の平残。

# りゅうぎん ポイントサービス



ポイント数に応じてサービスいろいろ!

## とくとく特典

### 特典1

ATM時間外  
手数料が **無料!**  
(当行ATM利用時のみ)

### 特典2

当行本支店間の  
振込手数料が **無料!**  
(キャッシュカード使用時のみ)

### 特典3

スーパー定期の  
金利を**上乗せ!**  
(※店頭表示金利+0.05%)

## ポイントサービスとは!

日頃お世話になっているお客様に対し、毎月のお取引内容をポイント化し、その合計ポイントに応じて手数料割引または金利優遇等の特典が受けられるサービスのことをいいます。

シルバーコース **50point**以上

ゴールドコース **100point**以上

エクセレントコース **200point**以上

ポイントサービスのお申込みがまだの方は、店頭  
のポイントサービス申込み用紙にご記入のうえ、  
窓口または郵便にてお申込み下さい。



※商品についての詳しいお問い合わせは、りゅうぎん窓口かフリーコールまで。



**0120-19-8689**

琉球銀行 ポイントサービス

<http://www.ryugin.co.jp/>

検索

## 特集レポートバックナンバー

### ■平成26年

11月 (No.541) 経営トップに聞く 沖縄メディカルグループ  
An Entrepreneur DIRECT CHINA株式会社  
特集 県内におけるレンタカー需要の動向

12月 (No.542) 経営トップに聞く 株式会社新垣通商  
An Entrepreneur 株式会社グラスアート藍

### ■平成27年

1月 (No.543) 経営トップに聞く 特定医療法人葦の会  
An Entrepreneur 有限会社水実  
特集 沖縄県経済2014年の回顧と2015年の展望

2月 (No.544) 経営トップに聞く 株式会社石垣エスエスグループ  
An Entrepreneur 有限会社ペンギン食堂

3月 (No.545) 経営トップに聞く 住宅情報センター株式会社  
An Entrepreneur 株式会社ビザライ

4月 (No.546) 経営トップに聞く 株式会社久米島の久米仙  
An Entrepreneur 株式会社ポイントビュール

5月 (No.547) 経営トップに聞く 学校法人みのり学園  
An Entrepreneur 株式会社インターナショナル・ローカル

6月 (No.548) 経営トップに聞く 株式会社南都  
An Entrepreneur 的エンタープライズ株式会社

7月 (No.549) 経営トップに聞く ジェフ沖縄株式会社  
An Entrepreneur 株式会社あうん堂

8月 (No.550) 経営トップに聞く 有限会社喜納住宅開発  
An Entrepreneur 株式会社FSO

9月 (No.551) 経営トップに聞く 社会医療法人友愛会  
An Entrepreneur 有限会社日本アイル かどうか動物病院

10月 (No.552) 経営トップに聞く 株式会社ビッグワン  
An Entrepreneur 株式会社アイセック・ジャパン

11月 (No.553) 経営トップに聞く 株式会社佐久本工機  
An Entrepreneur 株式会社食のかけはしカンパニー

12月 (No.554) 経営トップに聞く まさひろ酒造株式会社  
An Entrepreneur 安里紅型工房

### ■平成28年

1月 (No.555) 経営トップに聞く 社会医療法人仁愛会  
An Entrepreneur 有限会社島袋瓦工場  
特集 沖縄県経済2015年の回顧と2016年の展望

2月 (No.556) 経営トップに聞く 株式会社ジャンボツアーズ  
An Entrepreneur あーびやんもーゆ琉球月桃

3月 (No.557) 経営トップに聞く 株式会社前田鶏卵  
An Entrepreneur 株式会社グランディール  
特別寄稿 沖縄観光の長期展望

4月 (No.558) 経営トップに聞く 大晋建設株式会社  
An Entrepreneur 株式会社エスベレ  
特別寄稿 那覇空港ハブにおけるアジア諸国との  
貿易動向(2015年)

5月 (No.559) 経営トップに聞く 株式会社徳里産業  
An Entrepreneur 有限会社石川種麴店

6月 (No.560) 経営トップに聞く 医療法人博寿会  
An Entrepreneur 合同会社キンアグー

7月 (No.561) 経営トップに聞く 株式会社okicom  
An Entrepreneur 株式会社リュウクス

8月 (No.562) 経営トップに聞く 株式会社プレンティーホールディングス  
An Entrepreneur 株式会社バイオジェット

9月 (No.563) 経営トップに聞く 株式会社森山写真商会  
An Entrepreneur 琉球インタラクティブ株式会社

ココロをこめた、いちまい。

りゅうぎんディーシー

# 社会貢献助成金交付先 募集開始

詳しくは、りゅうぎんディーシー公式サイト

<http://www.ryugindc.co.jp>

## 募集期間

2016年9月15日～10月31日

**応募資格** 沖縄県内において、福祉活動・環境保全活動・その他地域に根ざした活動を行っている個人・法人・諸団体等。

**応募方法** 当社所定の「助成金支給申請書」および「事業計画書」に必要事項をご記入頂き、直接当社までご持参またはご郵送ください。

※ 当社所定の「助成金支給申請書」・「事業計画書」フォームは、当社WEBサイト内よりダウンロード可能です。

ココロをこめた、いちまい。

りゅうぎんディーシー 〒900-0015 那覇市久茂地1-7-1 琉球リース総合ビル6階 TEL:098-862-1525

あなたのカード利用が地域社会に活かされます。

りゅうぎん調査

No.564

平成28年10月5日発行

発行所：株式会社りゅうぎん総合研究所  
〒900-0025 那覇市壺川1丁目1番地9  
りゅうぎん健保会館3階  
TEL 835-4650 FAX 833-3732

印刷：沖縄高速印刷株式会社

